

KENWOOD

MP3/WMA対応デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-9200WMP DPX-8200WMP

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし！

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK！

イージーオペレーション

EZ Operation

Functional Operation

ソースセクション

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード

TUNER モード

ディスプレイコントロール

Name Set

DSP/イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

EZ Operation

オプション

リモートコントロール

Help



© B64-2209-10/03 (JW)

Help

- ? Operation
- ? MP3/WMA
- ? MD Group
- ? Word

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	12

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

MD、CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた 14

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール	84
各モード共通	
CD/MP3/WMA/MD/Changer モード	
TUNER モード	
電池の入れかた	
TV モード	
DNPS/SNPS	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? MP3/WMA ? MD Group ? Word

Help? Operation	90
Help? MP3/WMA	98
Help? MD Group	100
Help? Word	101

付 録

保証とアフターサービス	106
仕様一覧	107

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセクション	16
ソース選択	
CD/MP3/WMA/MD/Changer モード	17
トラック／ファイルサーチ	
ディスク／フォルダ／グループサーチ	
マニュアルサーチ	
トラック／ディスク／ファイル／ フォルダ／グループリピートプレイ	
スキャンプレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
グループランダムプレイ	
テキストスクロール	
フォルダセレクト	
グループセレクト	
ポーズ	
TUNER モード	26
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
チューナーリストチューニング (DPX-9200WMPのみ)	
ディスプレイコントロール	30
マルチキー切り替え (DPX-9200WMPのみ)	
時計表示切り替え	
時刻合わせ	
デモンストレーション切り替え	
操作パネル角度調節	
ディスプレイタイプ選択	
スベアナ切り替え (DPX-9200WMPのみ)	
壁紙の選択 (DPX-9200WMPのみ)	
動画の選択 (DPX-9200WMPのみ)	
全面グラフィック切り替え (DPX-8200WMPのみ)	
半面グラフィック切り替え (DPX-8200WMPのみ)	
Name Set	42
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)	
漢字の入力	
AUXネームセレクト	

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation
の米国、およびその他の国における商標です。

DSP/イコライザーコントロール50

DSPシステム
 サウンドフィールドの選択 (DPX-8200WMPのみ)
 DSPの設定 (DPX-9200WMPのみ)
 ユーザーDSP設定のメモリー
 (DPX-9200WMPのみ)
 ユーザーDSP設定の呼び出し
 (DPX-9200WMPのみ)
 イコライザーカーブの選択
 イコライザーカーブの調節
 ユーザーイコライザー設定のメモリー
 ユーザーイコライザー設定の呼び出し

オーディオコントロール60

オーディオコントロール (DPX-9200WMP)
 クロスオーバーコントロール
 (DPX-9200WMPのみ)
 オーディオコントロール (DPX-8200WMP)
 ユーザーオーディオ設定のメモリー
 ユーザーオーディオ設定の呼び出し
 交通情報音量設定

Function68

ファンクションセット
 セキュリティコード
 画像のダウンロード (DPX-9200WMPのみ)

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/MD/Changer モード

TUNER モード

ディスプレイコントロール

Name Set

DSP/イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TV コントロール74

チャンネル選択
 バンド/ビデオ切り替え
 プリセットコール
 マニュアルメモリー
 音声多重切り替え

Telephoneコントロール

(DPX-9200WMPにCA-HF100/HF200を使って
 携帯電話を接続したときの機能)76

ハンズフリーで電話をかける
 ハンズフリーで電話を受ける
 プライベート通話
 受話音量の調節
 着信音量の調節
 ユーザーダイヤルメモリー
 携帯電話メモリーダイヤル読み込み
 メモリーダイヤル消去

Hands-free callコントロール

(DPX-9200WMPにCA-HF300を使って
 携帯電話を接続したときの機能)82
 電話をかける
 電話を受ける
 受話音量の調節

オプション

リモートコントロール

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。

別売品を接続しているときにお読みください。

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MP3/WMA プレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? MD Group グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した「リモートコントロール」があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。
なお、DPX-9200WMPとDPX-8200WMPの操作方法が同じところでは、DPX-9200WMPの操作パネルにて表示・説明してあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはCD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。また、MP3/WMAの収録されたCD-Rなどを「メディア」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



DPX-9200WMPでボタンの上にアイコンが示されているときはそのアイコンの真下にあるボタンを押すことを表します。



1秒以上押す

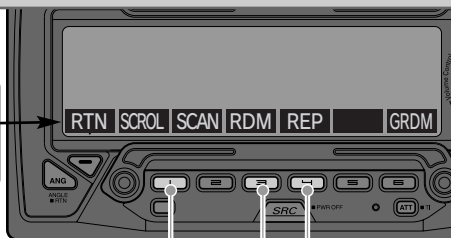
1秒以上（または2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
上記では1秒間押すことを示しています。また、メモリーに書き込むときなどは2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

アイコン表示

DPX-9200WMPでは次に押すボタンを示すためのガイドが表示されます。本書ではこのガイド表示をアイコンと呼んでいます。

**この辺ボタンABC...**

操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

A

B

C

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

DPX-8200WMP

C

**DPX-9200WMP**

C



表示される文字または内容

内容の説明

押すたびに、次のようにオン/オフします。

"Repeat"

トラックリピートオン

▼

リピートプレイオフ

ディスプレイ表示**スクロール**

ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

グループランダムプレイ

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

B



G-Random

"G-Random"と表示されるまで押し続けます。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

ソースセクション

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード

TUNERモード

ディスプレイコントロール

Name Set

DSP/イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

オプション

リモートコントロール

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

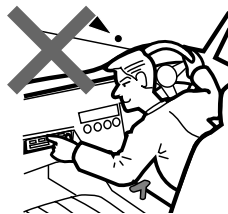
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）
- 電話機および本機の発信・着信の操作



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

通話中は車の運転に集中できず前方が不注意となります。

通話は安全な場所に停車してから行ってください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

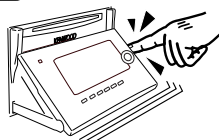
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

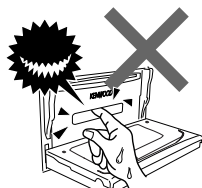
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するディスクチェンジャーについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明は取付説明書およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、本機とCDチェンジャーの合計で100枚（DPX-9200WMP）/50枚（DPX-8200WMP）まで記憶することができます。

携帯電話を本機に接続する前に（DPX-9200WMPのみ）

DPX-9200WMPに携帯電話を接続する前に、携帯電話の以下の設定をオフにしてください。

- ボタン操作確認音（“ビッ”音）
- 携帯電話本体にメッセージを記憶する留守番電話機能
- ドライブモード機能
- マナーモード機能
- 自動着信機能

また、携帯電話を接続したままDPX-9200WMPをバッテリーの電源から外すと、DPX-9200WMPの故障の原因となります。バッテリーを交換するときなどは、DPX-9200WMPから携帯電話を外してください。

携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは（DPX-9200WMPのみ）

DPX-9200WMPに別売品の“CA-HF100”または“CA-HF200”を使用して携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話やDPX-9200WMPから携帯電話のコントロールが可能となります。

CA-HF100/HF200で接続できる携帯電話の機種はカタログをご覧ください（接続・使用可能な携帯電話の中にも、機種により一部不適切な表示や動作をする場合があります）。なお、改造などを施した携帯電話では使用できないことがあります。

「ファンクションセット」（68ページ）の“TEL コネクタ”項目を“BUS”に設定してから使用してください。“PLUG”の設定のままでは正しく動作しません。

DPX-9200WMPへの携帯電話接続手順

1. DPX-9200WMPの電源をオンにする。
2. 携帯電話の電源をオフにする。
3. 携帯電話の外部接続端子をCA-HF100/HF200に接続する。



DPX-9200WMPは上記以外の手順で携帯電話を接続しても、接続されていると認識できません。正しく接続されるとDPX-9200WMPのインジケータが点灯または点滅します。

携帯電話を接続すると、携帯電話の電源は自動的にオンになります。DPX-9200WMPの電源がオンのときは、接続している携帯電話をオフにすることはできません。

また、DPX-9200WMPと接続されている携帯電話とは常に通信状態にあるため、携帯電話の電池の消費が通常より多くなります。

なお、CA-HF100/HF200は携帯電話に電源を供給していません。

携帯電話のインターネット機能やメール機能を使用するときは、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してください。CA-HF100/HF200に携帯電話を接続したままでは、これらの機能が正常に動作しない場合があります。

携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-9200WMPに読み込んでいないと、ハンズフリー機能を使用して電話をかけることはできません。この状態のとき、 インジケーターが点滅します。メモリーダイヤルをDPX-9200WMPに読み込むと  インジケーターは点灯に変わります。(メモリーダイヤルの読み込み方法は80ページを参照してください) なお、読み込んだメモリーダイヤルは、携帯電話をはずしてもDPX-9200WMPに記憶されています。

携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-9200WMPに読み込むときは、携帯電話の電源が途中で切れないようにフル充電をして、DPX-9200WMPの電源も読み込み中に切らないようにしてください。読み込み中に電源が切れるとDPX-9200WMPのダイヤルメモリー内容はすべて消去されます。

携帯電話のメモリーダイヤルを読み込み中はDPX-9200WMPの操作はしないでください。携帯電話も着信以外の操作はしないでください。また、読み込み中に着信したときは通話が終了後に読み込み動作が自動的に再開されます。この場合、指定した番号からすべて読み込み直します。

携帯電話より読み込んだ電話番号は、リセットボタンを押したり、DPX-9200WMPをバッテリーから外すと消去されます。このようなときは携帯電話より電話番号を再度読み込んでください。

DPX-9200WMPのハンズフリー通話機能では、割り込み通話や三者通話を利用できません。このような通話をするときは、安全な場所に停車した後、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してから、携帯電話で操作してください。

接続している携帯電話によっては、DPX-9200WMPから電話をかけた場合に、携帯電話の発信履歴に電話番号が記憶されない場合があります。

携帯電話をCA-HF300で 接続したときは (DPX-9200WMPのみ)

携帯電話の着信音量と受話音量は、最大に設定してください。

「ファンクションセット」(68ページ)の“TELコネクタ”項目を“PLUG”に設定してから使用してください。“BUS”の設定のままでは正しく動作しません。

CA-HF300を使用して接続した場合、DPX-9200WMPのディスプレイでは携帯電話の通信状態(着信中・切断中など)が分かりません。通信状態を把握するため、携帯電話は運転席から見られる場所に設置してください。

ハンズフリー通話中は、携帯電話の充電器は使用しないでください。雑音が出たり、誤動作を起こすことがあります。

通話中に携帯電話をCA-HF300から外したり接続しないでください。雑音が出ることがあります。

通話中にイグニッションキーを“START”位置にすると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話機能について (DPX-9200WMPのみ)

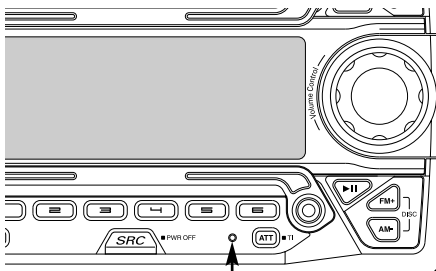
携帯電話の電波受信レベルが低いときや、車の走行ノイズが大きいときは、通話している双方ともに相手の音声聞き取りづらくなる場合があります。

受話音声はフロントスピーカーおよびフロントブリアウトの、右チャンネルまたは左チャンネルより出力されます。

使用上のご注意

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Operation」(90ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならない。

●
操作パネルがスライドした状態のときに異常が起
こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引
き上げながら下部を押すことにより手動で閉める
ことができます。

オートアンテナ付き車に 取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにした
り交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナ
が自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフ
にするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えて
ください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロス
か柔らかい布でからぶきしてください。汚れが
ひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に
付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取っ
てください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きか
けると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い
布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので
拭くと、傷が付いたり文字が消えることがありま
す。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学
系部品に損傷を与えたり、イジェクトができな
くなるなど、故障の原因になる場合があります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は
非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路
が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。
保護回路機能が解除され、演奏ができる状態にな
ります。もし正常に動作しないときはリセットボ
タンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内
部に露(水滴)が付くことがあります。これを結
露といい、この状態ではMDやCDの読み取りがで
きなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時
間ほど放置すると、結露が取り除かれます。


もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、
購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡
してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

 マークの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷したCD-R/CD-RWを長時間再生または放置すると、レーベル面が本機内部に貼り付いてイジェクトできないことがあります。本機の故障の原因となるため、レーベル面に印刷をしたCD-R/CD-RWは使用しないでください。

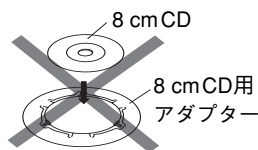
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

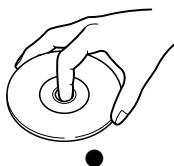
ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

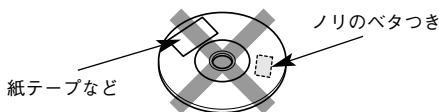
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

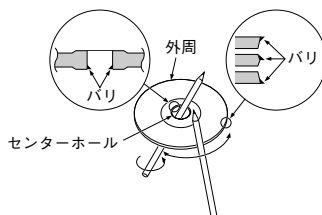
直射日光があたる場所 (シートやダッシュボードの
上) など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

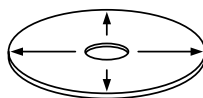
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に“バリ”がないことを確認してください。
“バリ” がついたまま使用すると、CDが挿入でき
なかったり音飛びの原因になります。“バリ” があ
るときは、ボールペンなどで取り除いてから使用
してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ
て軽くふき取ってください。

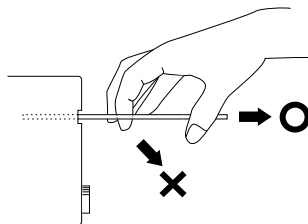
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し
てください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。



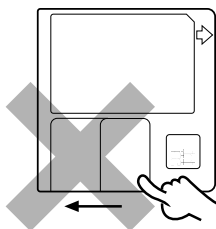
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

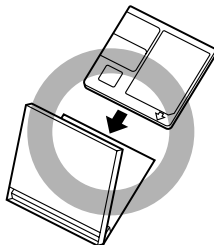
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



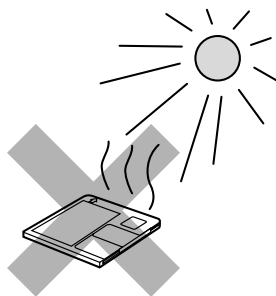
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。





ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



CDをプレイするときは…

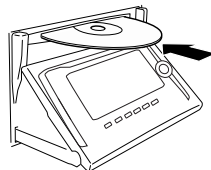
(CD EJECT) を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。CDが引き込まれ、パネルが閉まります。

MP3/WMAファイルが収録されたCDも同様の操作でプレイすることができます。くわしくは「CD/MP3/WMA/MD/Changer モード」(17ページ)をご覧ください。



CDを取り出すときは…

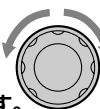
(CD EJECT) を押します。操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。もう一度 (CD EJECT) を押すと、パネルは閉じます。



プレイできるMP3/WMAメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA」(98ページ)に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。



音量を
下げます。



音量を
上げます。



電源をオン/オフします。

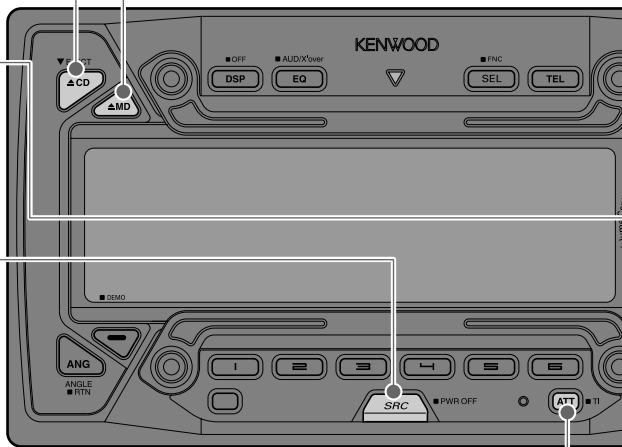
押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFに切り替わります。

MDが入っているときは インジケーターが点灯し、CD/メディアが入っているときは インジケーターが点灯します。



音量を素早く下げます。

もう一度押すと、元の音量に戻ります。



1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



- CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで (CD EJECT) を押し続けてください。
- ディスクのイジェクト状態（操作パネルをスライドさせた状態）で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択、ハンズフリー受信などだけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。
- 全ての操作は、電源をオンにした状態で行ってください。



CD/MP3/WMAの操作



チューナーの操作



共通の操作

**MDをプレイするときは…**

(MD EJECT) を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

**MDを取り出すときは…**

(MD EJECT) を押します。

操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。

もう一度 (MD EJECT) を押すとパネルは閉じます。



- 本機ではMDLPで録音されたMDも差し込めばプレイできます。
プレイ中のMDがLP 2モードのときは“LP 2”インジケーター、LP 4モードのときは“LP 4”インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しているため、グループ登録済みMDの検索機能を使って、聴きたい曲をすばやく探すことができます。詳しくは、「[Help? Word]」の「[MD Group]」(102ページ)をご覧ください。

**プレイする曲を選びます。****受信する放送局を選びます。**

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(68ページ)



交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz)を選びます。



FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。



次のMP3/WMAフォルダ/MDグループを選びます。



AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



前のMP3/WMAフォルダ/MDグループを選びます。

ソースセクション

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード

TUNER モード

ディスプレイコントロール

Name Set

DSP/イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

オプション

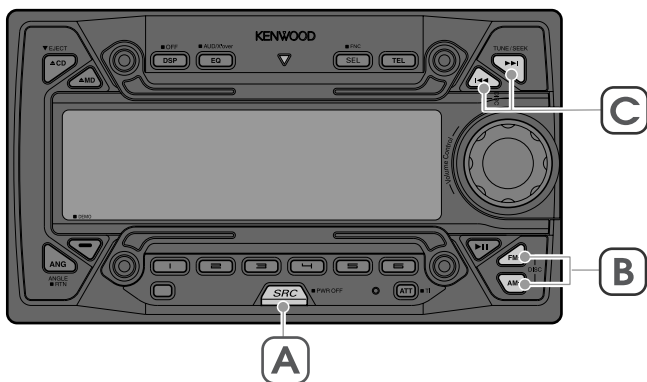
リモートコントロール

Help



- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

ソースセレクション /

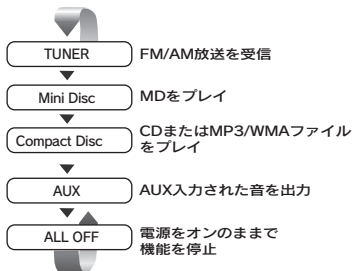


ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

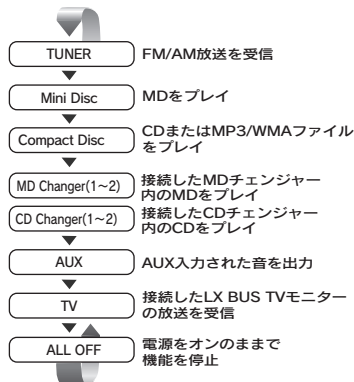


押すたびに次の順で切り替わります。



- AUXソースには「ファンクションセット」(68ページ)の“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。
- MP3/WMAのメディアが挿入されているときは、CDモード(“Compact Disc”)を選択することにより、MP3/WMAファイルのプレイができます。
- AUXソースの表示は、初期状態では“AUX”と表示されますが、「AUXネームセレクト」(48/49ページ)で変更ができます。

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：“AUX1”表示を選ぶ。
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：“Disc Changer”表示を選ぶ。
(確定後に“AUX Mode”表示になります)

CD/MP3/WMA/MD/Changer モード

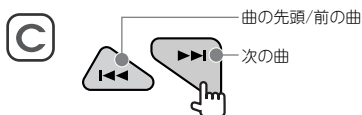
プレイするソースを選びます。

本機や別売品のディスクチェンジャー内のCD/MD/MP3/WMAをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCD/MDの聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

トラック／ファイルサーチ

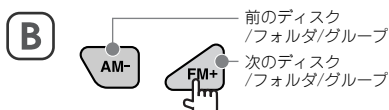
プレイする曲を選びます。



ディスク／フォルダ／グループサーチ

(MP3/WMAメディア、グループ登録済みMD、ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスク、フォルダやグループを選びます。



マニュアルサーチ

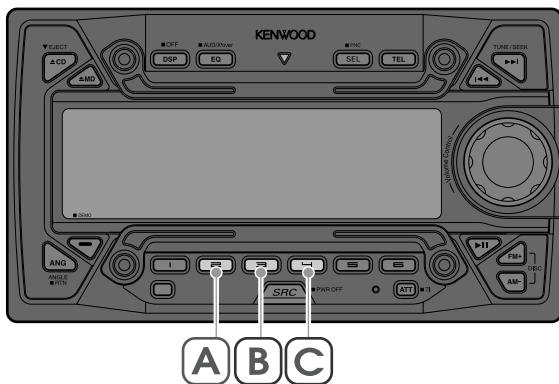
現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

- MP3/WMAファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード



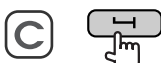
トラック/ディスク/ファイル/フォルダ/グループリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク、フォルダ、グループ内の曲を繰り返しプレイします。

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



押すたびに、次のようにオン/オフします。

DPX-9200WMPではリピートプレイ中はREPアイコンが明暗反転します。

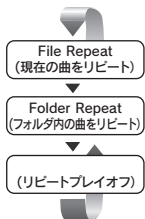
DPX-8200WMPではトラック/ファイル/フォルダリピート中はREPインジケータが点灯し、ディスクリピート中、グループリピート中はそれぞれD.REPインジケータ、G.REPインジケータが点灯します。

● DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

CD/MDプレーヤー時



MP3/WMAファイル時



CD/MDチェンジャー時



グループ登録済みMD時

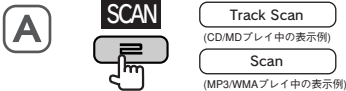


スキャンプレイ

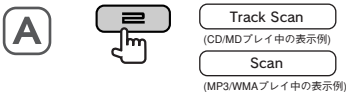
ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



DPX-9200WMPではスキャンプレイ中はSCANアイコンが明暗反転します。

DPX-8200WMPではSCNインジケータが点灯します。

- DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

2 聴きたい曲のところで...



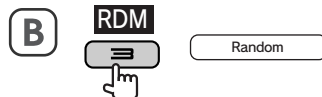
その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



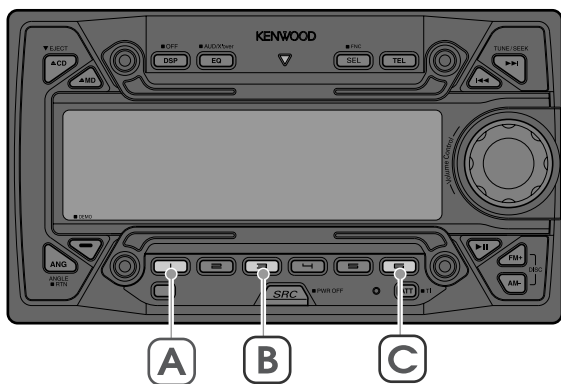
押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

DPX-9200WMPではランダムプレイ中はRDMアイコンが明暗反転します。

DPX-8200WMPではRDMインジケータが点灯します。

- DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。
- を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード

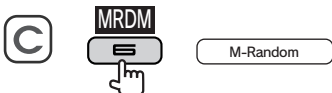


● マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフされます。

DPX-9200WMPではマガジンランダムプレイ中はMRDMアイコンが明暗反転します。

DPX-8200WMPではM.RDMインジケータが点灯します。

● DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

● を押すと、次の曲をランダムに選択します。

● グループランダムプレイ

(グループ登録済みMDのみ)

(DPX-9200WMPでの操作)

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、グループランダムプレイがオン／オフされます。

グループランダムプレイ中はGRDMアイコンが明暗反転します。

● DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

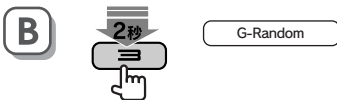
● を押すと、次の曲をランダムに選択します。

グループランダムプレイ

(グループ登録済みMDのみ)
(DPX-8200WMPでの操作)

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

グループランダムプレイをオンにします



“G-Random” と表示されるまで押し続けます。
グループランダムプレイ中はG.RDMインジケータ
ーが点灯します。

● を押し、 を押し、次の曲をランダムに選択します。

グループランダムプレイをオフにします



G.RDMインジケータが消灯します。

テキストスクロール

ディスプレイに表示されるテキストをスクロール
設定が “Manual” のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイタイプ選択」(DPX-9200WMP
は34ページ/DPX-8200WMPは36ページ) を参
照してテキストを表示します。

2 スクロールします

DPX-9200WMP



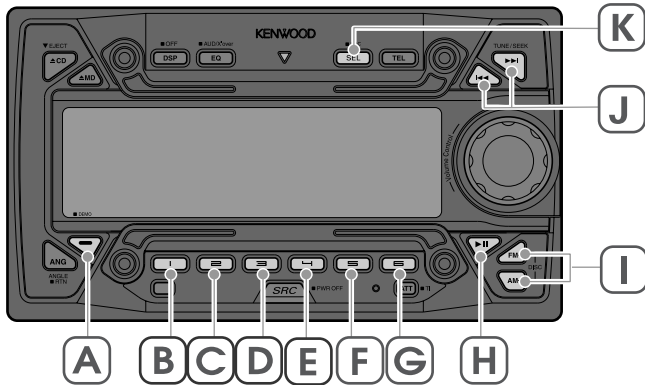
DPX-8200WMP



表示中のテキストが1回スクロールします。

- DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキ
ーモードにしているときは「マルチキー切り替え」
(30ページ) でソースキーモードに切り替えてから
手順2の操作を行ってください。
- スクロール設定を “Auto” にしているときに上記
の操作を行うと、テキストが最初の文字からスク
ロールを開始します。スクロール設定の方法は、
「ファンクションセット」(68ページ) を参照して
ください。
- スクロールが可能なテキスト表示については、
「Help? Word」の「Scroll」(102ページ) を参照し
てください。

CD/MP3/WMA/MD/Changerモード



フォルダセレクト (MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMAの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

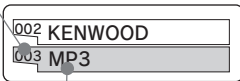
1 フォルダセレクトモードにします



FOLDER SELECT
(DPX-8200WMPのみの表示)

ディスプレイに以下の表示がされます。
DPX-8200WMPではフォルダナンバー表示が2桁で表示されます。

フォルダナンバー表示
現在選択されているフォルダが
属するフォルダ内での番号を表示します。

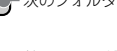
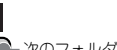


フォルダネーム表示
現在選択中のフォルダネームを表示します。

2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します

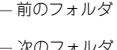
DPX-9200WMP



次のフォルダ

前のフォルダ

DPX-8200WMP



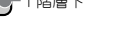
前のフォルダ

次のフォルダ

押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します

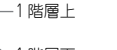
DPX-9200WMP



1 階層下

1 階層上

DPX-8200WMP



1 階層上

1 階層下

押すたびに、1 階層上/1 階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

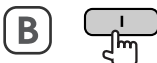
● フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(98ページ)を参照してください。

フォルダネームをスクロールするときは…

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



フォルダセレクトを中止するときは…



3 聴きたい曲が入っているフォルダで…

DPX-9200WMP



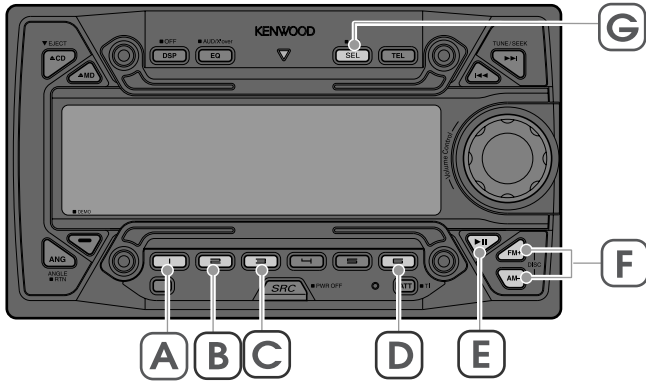
DPX-8200WMP



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

● フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

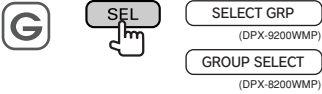
CD/MP3/WMA/MD/Changerモード



グループセレクト (グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループ名を表示してグループを選択します。

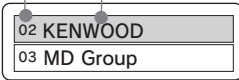
1 グループセレクトモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

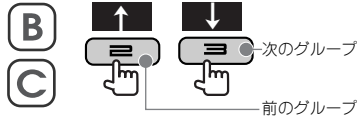
グループナンバー表示
現在選択されているグループの番号を表示します。

グループネーム表示
現在選択されているグループネームを表示します。

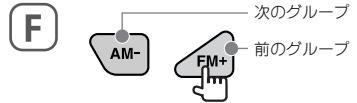


2 グループを選びます

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



押すたびに、次のグループ／前のグループへと移動します。

グループセレクト時の曲の移動のしかたは、グループサーチとは異なります。くわしくは「Help? MD Group」(100 ページ)を参照してください。

グループネームをスクロールするときは...

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



グループセレクトを中止するときは…



3 聴きたい曲が入っているグループで…

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

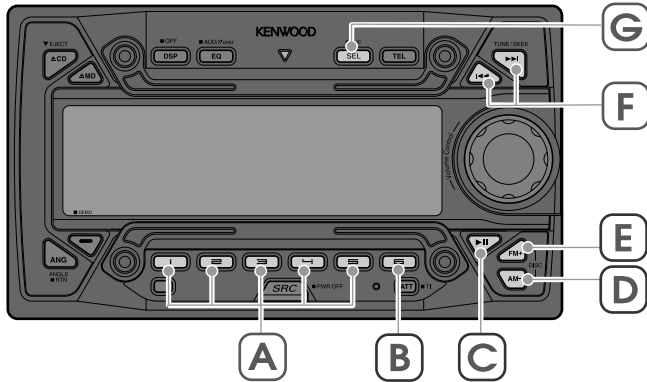
ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“**AUTO 1**” / “**Auto 1**” のとき
(AT1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“**AUTO 2**” / “**Auto 2**” のとき
(AT2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
(メモリーの方法は右記を参照してください)

チューニングモードが“**Manual**” のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(68ページ)の“Seek”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

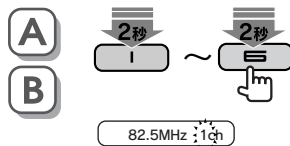
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点減するまで押し続けます。

- DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

FM/AM放送を受信します。

また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

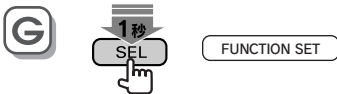
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します

DPX-9200WMP



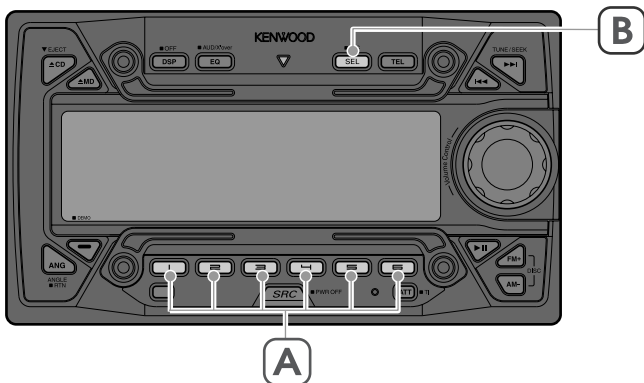
DPX-8200WMP



周波数表示になるまで押し続けます。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

TUNER モード



プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



82.5MHz 1ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」（30ページ）でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

チューナーリストチューニング (DPX-9200WMPのみ)

放送局名をリスト表示して、メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 チューナーリストモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

プリセットナンバー表示

TUNER List	1 82.5MHz	4 83.0MHz
	2 76.0MHz	5 88.0MHz
FM1	3 78.0MHz	6 90.0MHz

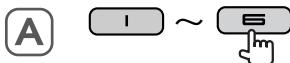
バンド表示

チューナーリストモードを中止するときは…



2 バンドを選びます

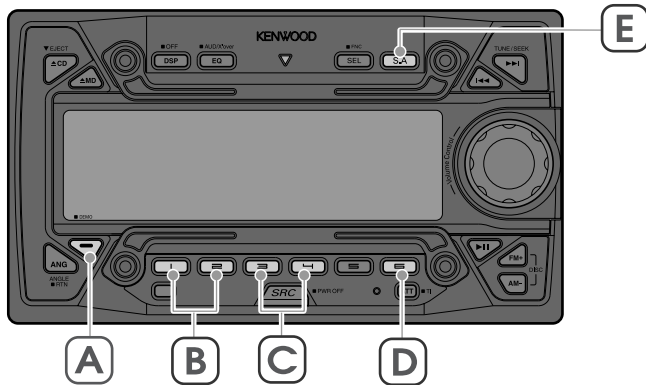
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

3 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

82.5MHz 1ch

チューナーリストモードが終了し、その放送局が受信されます。

ディスプレイコントロール



マルチキー切り替え (DPX-9200WMPのみ)

キーモードを切り替えます。



押すたびに以下のように切り替わります。

TUNER/TV受信時



ディスプレイキーモード

CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャープレイ時



ディスプレイキーモード

(MRDMアイコンはディスクチェンジャープレイ時のみの表示)

MDプレイ時

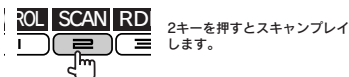


ディスプレイキーモード

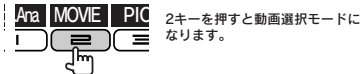
(GRDMアイコンはMDグループ登録済みMDプレイ時のみの表示)

例：CDをプレイしている時

ソースキーモード中は・・・



ディスプレイキーモード中は・・・



- 初期設定はディスプレイキーモードになっています。各ディスプレイ調整機能の設定時とDNPS/SNPSの設定時以外はソースモードにして使用して下さい。
- マルチキーについての詳しい機能説明は「Help? Word」(103ページ)を参照してください。

時計表示切り替え (DPX-9200WMPでの操作)

時計表示をオン/オフします。

1 ディスプレイキーモードにします



(CDプレイ中の表示例)

2 時計表示をオン/オフします



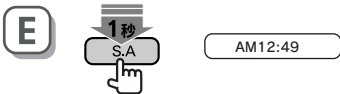
AM12:49

押すたびに、時計表示がオン/オフされます。

ディスプレイの表示タイプや表示する情報の設定をします。

時計表示切り替え (DPX-8200WMPでの操作)

時計表示をオン/オフします。

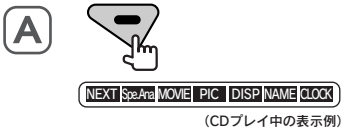


1秒以上押すたびに、時計表示がオン/オフされます。

時刻合わせ (DPX-9200WMPでの操作)

時計表示の時刻を合わせます。

1 ディスプレイキーモードにします



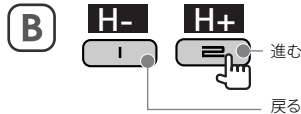
2 時刻合わせを開始します



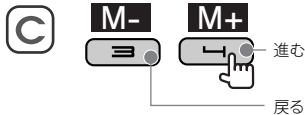
“CLOCK ADJUST”と表示されるまで押し続けます。

3 時刻を合わせます

“時”を合わせる



“分”を合わせる

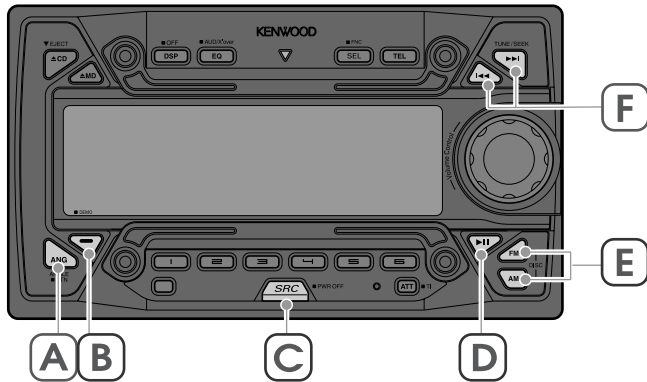


4 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

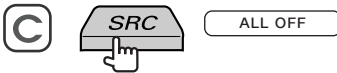
ディスプレイコントロール



時刻合わせ

(DPX-8200WMPでの操作)
時計表示の時刻を合わせます。

1 ALL OFFモードにします



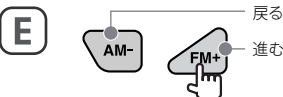
2 時刻合わせを開始します



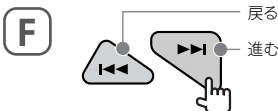
“CLOCK ADJUST” と表示されるまで押し続けます。

3 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる



4 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

デモンストレーション切り替え

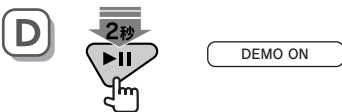
デモンストレーション表示にします。

DPX-9200WMP



“DEMO ON” と表示されるまで押し続けます。
1秒以上押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

DPX-8200WMP



“DEMO ON” と表示されるまで押し続けます。
2秒以上押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

操作パネル角度調節

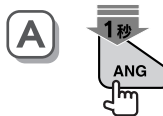
操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

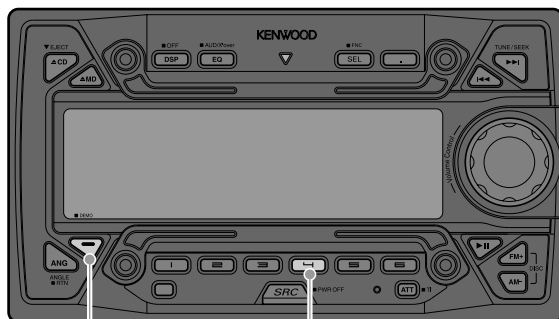
パネルを元の位置に戻します。



パネルが動き始めるまで押し続けます。

- パネルスライド中は、FM/AM放送の音は出力されません。

ディスプレイコントロール



ディスプレイタイプ選択

(DPX-9200WMPでの操作)

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

1 ディスプレイキーモードにします

A



NEXT SpAtr MOVIE PIC DISP NAME CLOCK

(CDプレイ中の表示例)

2 ディスプレイタイプを切り替えます

B



押すたびに次の順に切り替わります。

ALL OFFモード時

ALL OFF

全面グラフィック+ALL OFF表示

ALL OFF

半面グラフィック+ALL OFF表示

全面グラフィック

TUNER/交通情報受信時

全面グラフィック+周波数

SNPS

全面グラフィック+ステーションネーム

SNPS

半面グラフィック+周波数
+ステーションネーム

全面グラフィック

CDプレイ時

P-Time

全面グラフィック+トラック演奏時間

A-Time

全面グラフィック+トータル演奏時間

DNPS

全面グラフィック+ディスクネーム

Disc Title

全面グラフィック+ディスクタイトル

Track Title

全面グラフィック+トラックタイトル

DNPS

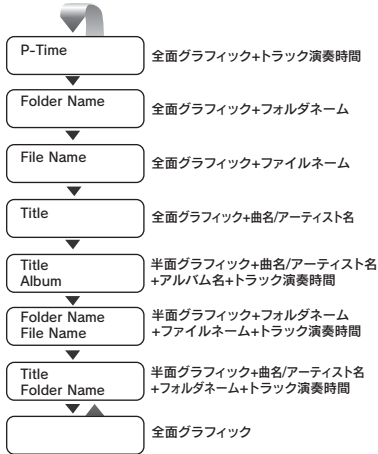
半面グラフィック+ディスクネーム
+トラック演奏時間

Disc Title

半面グラフィック+ディスクタイトル
+トラックタイトル+トラック演奏時間

全面グラフィック

MP3/WMAプレイ時



AUXモード時

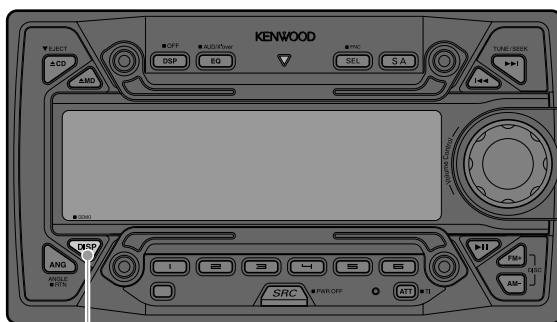


MDプレイ時



- グラフィックの切り替えかたは、「スベアナ切り替え」(38ページ)、「壁紙の選択」(39ページ)「動画の選択」(40ページ)をご覧ください。
- *の項目はグループ登録済みMDをプレイ時のみ選択可能です。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- DPX-9200WMPは表示部の明るさを長時間持続させるために、表示反転機能を採用しています。表示反転機能とは約60秒間操作をしないと、以後約10秒間隔でボジ表示とネガ表示とを切り替える機能です。なお、この機能を解除することはできません。
- CA-C1AXに入力したAUXソースでは“AUX Mode”表示と全面グラフィック表示とが切り替わります。

ディスプレイコントロール



A

ディスプレイタイプ選択

(DPX-8200WMPでの操作)

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

A



押すたびに次の順に切り替わります。

ALL OFFモード時

ALL OFF

全面グラフィック+ALL OFF表示

ALL OFF

半面グラフィック+ALL OFF表示

全面グラフィック

TUNER/交通情報受信時

全面グラフィック+周波数

SNPS

半面グラフィック+ステーションネーム
+周波数

全面グラフィック

CDプレイ時

P-Time

全面グラフィック+トラック演奏時間

A-Time

全面グラフィック+トータル演奏時間

DNPS

半面グラフィック+ディスクネーム
+トラック演奏時間

Disc Title

半面グラフィック+ディスクタイトル
+トラック演奏時間

Track Title

半面グラフィック+トラックタイトル
+トラック演奏時間

Disc Title
Track Title

ディスクタイトル+トラックタイトル
+トラック演奏時間

全面グラフィック

MDプレイ時

P-Time

全面グラフィック+トラック演奏時間

Disc Title

半面グラフィック+ディスクタイトル
+トラック演奏時間

Group Title

半面グラフィック+グループタイトル
+トラック演奏時間 *

Track Title

半面グラフィック+トラックタイトル
+トラック演奏時間

Disc Title
Track Title

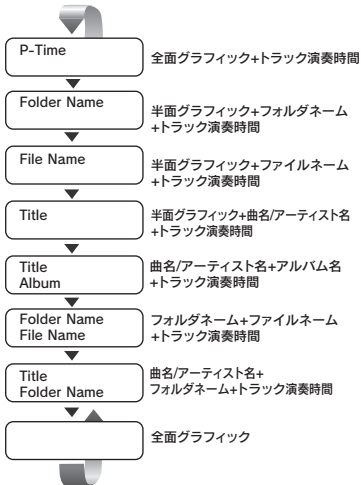
ディスクタイトル+トラックタイトル
+トラック演奏時間

Group Title
Track Title

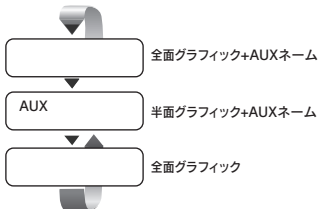
グループタイトル+トラックタイトル
+トラック演奏時間 *

全面グラフィック

MP3/WMA再生時

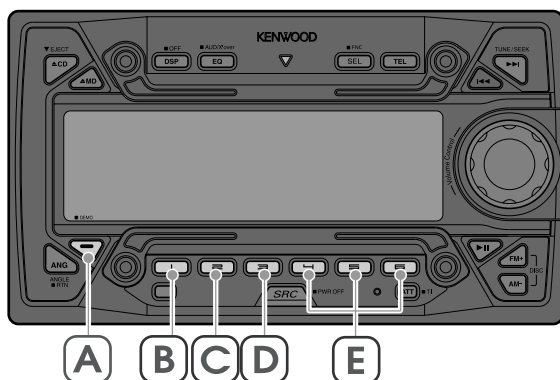


AUXモード時



- グラフィックの切り替えかたは、「全面グラフィック切り替え」(41ページ)「半面グラフィック切り替え」(41ページ)をご覧ください。
- *の項目はグループ登録済みMDを再生時のみ選択可能です。
- WMAファイルを再生中は、アルバム名の表示はできません。
- CA-C1AXに入力したAUXソースでは“AUX Mode”表示と全面グラフィック表示とが切り替わります。

ディスプレイコントロール



スเปアナ切り替え

(DPX-9200WMPのみ)

全面グラフィックに表示するスペクトラムアナライザー表示を選択します。

1 ディスプレイキーモードにします

A



NEXT Spe.Ana MOVIE PIC DISP NAME CLOOR
(CDプレイ中の表示例)

2 スペアナ選択モードにします

B



3 スペアナを切り替えます



以下のように切り替わります。

押すボタン	スペクトラムアナライザー
S.A 1	
I	Peak Hold スペアナ1
S.A 2	
≡	Cockpit スペアナ2
S.A 3	
≡	Cipher スペアナ3
S.A 4	
≡	Ocean Mist スペアナ4
S.A 5	
≡	Megaplant スペアナ5
S.A SCN	
≡	SPEANA SCAN スペアナスキャン

● スペアナスキャンに切り替えると"Peak Hold"から"Megaplant"までを次々に表示します。

4 スペアナ選択モードを終了します

A



● ALL OFF中およびTI受信中はスぺアナ切り替えはできません。

壁紙の選択 (DPX-9200WMPのみ)

全面グラフィックに表示する壁紙を選択します。

1 ディスプレイキーモードにします

A



NEXT SpAve MOVIE PIC DISP NAME CLOCK

(CDプレイ中の表示例)

2 壁紙選択モードにします

D



3 壁紙を切り替えます

B

~ E

I



以下のように切り替わります。

押すボタン	壁紙
	PIC1 壁紙1
	PIC2 壁紙2
	PIC3 壁紙3
	PIC4 壁紙4
	PIC5 壁紙5
	PIC SCAN 壁紙スキャン

- 壁紙スキャンに切り替えると"PIC1"から"PIC5"までを次々に表示します。

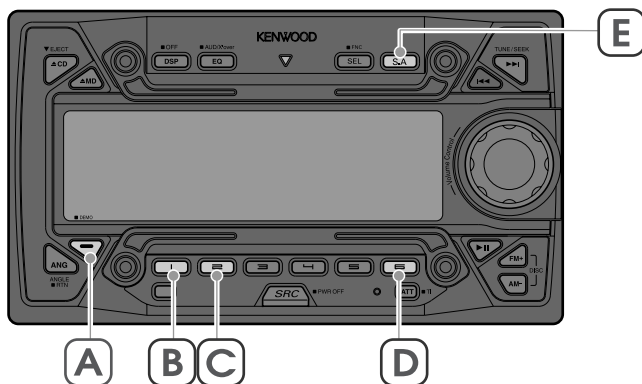
4 壁紙の選択を終了します

A



- 本機には5種類の壁紙があらかじめ登録されています。
- 「画像のダウンロード」(72ページ)でダウンロードした壁紙は、壁紙1から壁紙5を書き替えて登録されます。

ディスプレイコントロール



動画の選択 (DPX-9200WMPのみ) 全面グラフィックに表示する動画を選択します。

1 ディスプレイキーモードにします

A



NEXT Spe.Aria MOVIE PIC DISP NAME CLOO

(CDプレイ中の表示例)

2 動画選択モードにします

C



3 動画を切り替えます

B ~ D



以下のように切り替わります。

押すボタン	動画
Movie1 I	MOVIE1 動画1
Movie2 E	MOVIE2 動画2
Mv SCN S	MOVIE SCAN 動画スキャン

● 動画スキャンに切り替えると“MOVIE1”と“MOVIE2”を次々に表示します。

4 動画切り替えを終了します

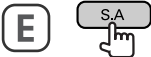
A



- 本機には2種類の動画があらかじめ登録されています。
- 「画像のダウンロード」(72ページ)でダウンロードした動画は、動画2を書き替えて登録されます。

● 全面グラフィック切り替え (DPX-8200WMPのみ)

全面グラフィックの表示を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



- 「全面グラフィック切り替え」は「ディスプレイタイプ選択」(36ページ)で全面グラフィックを選択中に可能です。
- ALL OFF中は「Virtual Cruising」と「Deep Marine Movie」のみ切り替えられます。
- TI受信中は全面グラフィック切り替えはできません。

● 半面グラフィック切り替え (DPX-8200WMPのみ)

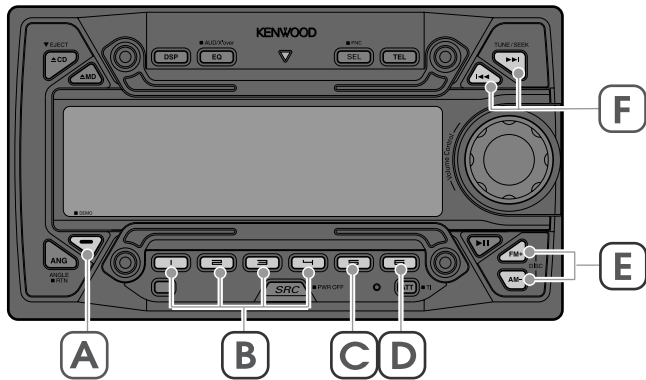
半面グラフィック表示を切り替えます。



押すたびに3種類の画像が切り替わります。

- 「半面グラフィック切り替え」は「ディスプレイタイプ選択」(36ページ)で半面グラフィックを選択中に可能です。
- ALL OFF中およびTI受信中は切り替えられません。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) /
SNPS (ステーションネームプリセット)
(DPX-9200WMPでの操作)
CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 ディスプレイキーモードにします

A



NEXT SpeAra MOVIE PIC DISP NAME CLOCK
(CDプレイ中の表示例)

2 名前を付けるCD/放送局を選びます

- MDやMP3/WMAのメディアにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。

3 DNPS/SNPSを開始します

C

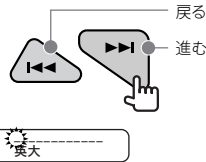


Name Set

“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

4 文字を入力する位置にカーソルを移動します

F



5 文字の種類を選びます

B ~ D

I ~



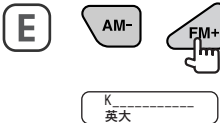
以下のように切り替わります。

押すボタン	文字の種類	
漢字		
I	漢字	漢字入力モード
A-Z		
=	英大	英大文字
a-z		
=	英小	英小文字
カナ		
←	カナ	カタカナ
かな		
=	かな	ひらがな
1-0		
=	数記	数字・記号

● 漢字の入力方法については「漢字の入力」(46 ページ)をご覧ください。

FM/AM放送局や本機内蔵CDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

6 文字を選びます



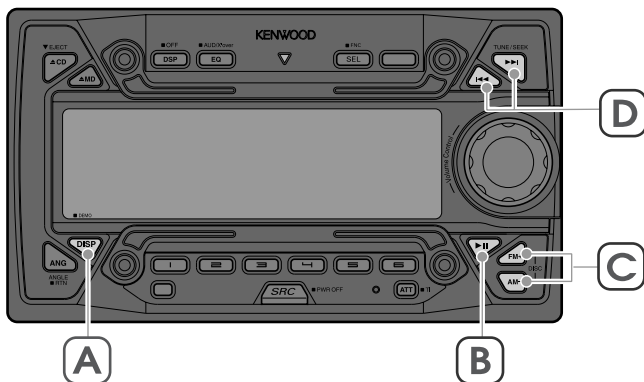
7 4～6を繰り返して、すべての文字を入力します

8 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは本機内蔵CDプレーヤーおよび接続している別売品CDチェンジャーの合計で100枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット) (DPX-8200WMPでの操作)

CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

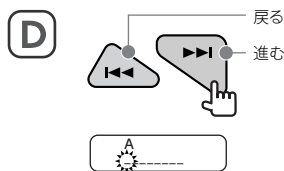
- MDやMP3/WMAのメディアにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。

2 DNPS/SNPSを開始します



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

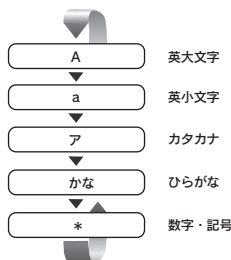
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます

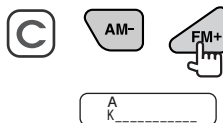


押すたびに次の順で切り替わります。



● 漢字の入力方法については「漢字の入力」(47 ページ)をご覧ください。

5 文字を選びます



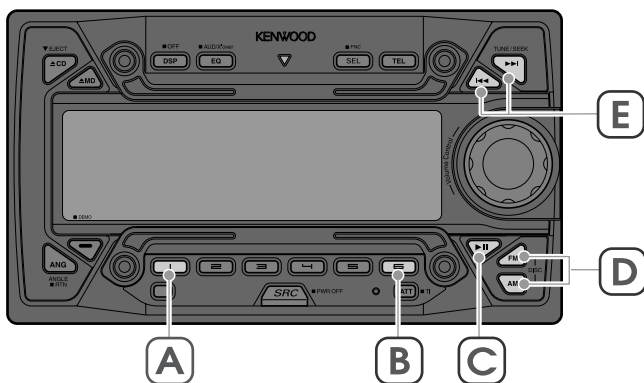
6 3～5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは本機内蔵CDプレーヤーおよび接続している別売品CDチェンジャーの合計で50枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

Name Set



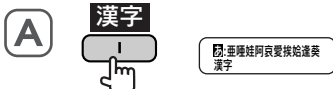
漢字の入力 (DPX-9200WMPでの操作)

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

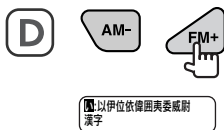
1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS (ディスクネームプリセット) /SNPS (ステーションネームプリセット)」(42ページ)の手順1～4を行います。

2 漢字入力モードにします



3 漢字の読みを選択します



4 入力する漢字を選ぶ



カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには...



カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力する



カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順2～5を繰り返します。

漢字入力を中止するときは...



● 漢字の入力 (DPX-8200WMPでの操作)

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS (ディスクネームプリセット) /SNPS (ステーションネームプリセット)」(44ページ)の手順1～3を行います。

2 漢字入力モードにします



3 漢字の読みを選択します



4 入力する漢字を選ぶ



カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには....



カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力する



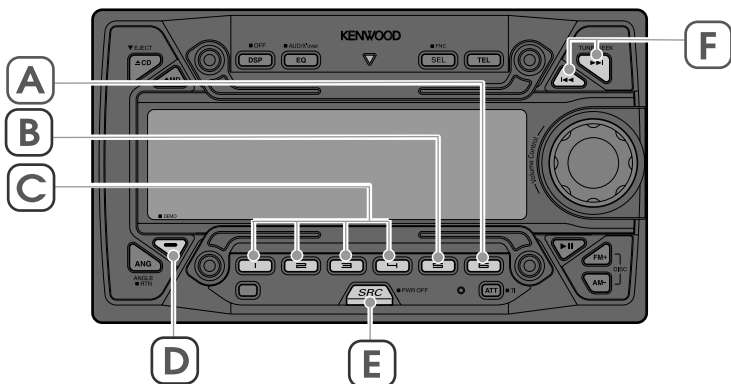
カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

さらに漢字を入力する場合は、手順2～5を繰り返します。

漢字入力を中止するときは...



Name Set

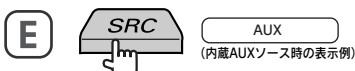


AUXネームセレクト

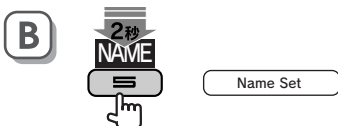
(DPX-9200WMPでの操作)

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 AUXネームセレクトを開始します



“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



以下のように切り替わります。

押すボタン	AUXネーム
AUX	
I ▶	AUX
DVD	
≡ ▶	DVD
PRTBL	
≡ ▶	PORTABLE
GAME	
≡ ▶	GAME
VIDEO	
≡ ▶	VIDEO
TV	
≡ ▶	TV

4 AUXネームセレクトを終了します



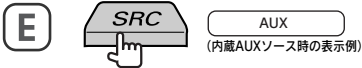
- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

AUXネームセレクト

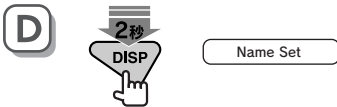
(DPX-8200WMPでの操作)

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします

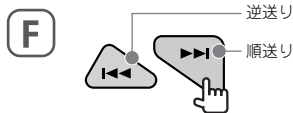


2 AUXネームセレクトを開始します

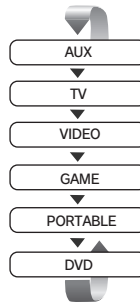


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

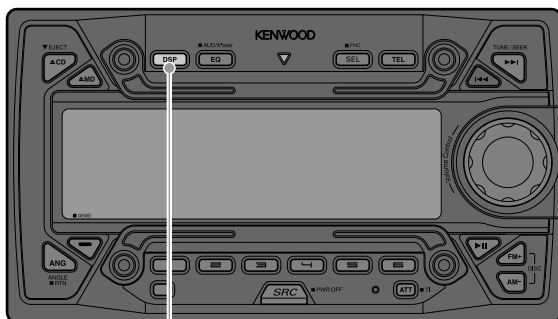


4 AUXネームセレクトを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

DSP/イコライザーコントロール



A

● DSPシステム

DSP機能を使います。

DSPシステムをオンにします

A



DSP ON
(DPX-9200WMP)

DSP CONTROL MODE
(DPX-8200WMP)

DSP効果のかかった音が出力されます。
DPX-9200WMPではDSPシステムの調整はDSPシステムがオンの状態でのみ行えます。

- DSPの設定はALL OFFモード以外のモード中に設定できます。
- 「オーディオコントロール」(60/64ページ)のバランス/フェダーを中央位置以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムのオン中は、バランス/フェダーを中央位置にしてください。
- 交通情報モード中は、自動的にDSP機能が解除(バイパス)されます。

DSPシステムをオフにします

A



DSP OFF

“DSP OFF”と表示されるまで押し続けます。
DSP効果が解除されます。

● サウンドフィールドの選択

(DPX-8200WMPのみ)

疑似音場効果呼び出します。

A



DSP CONTROL MODE

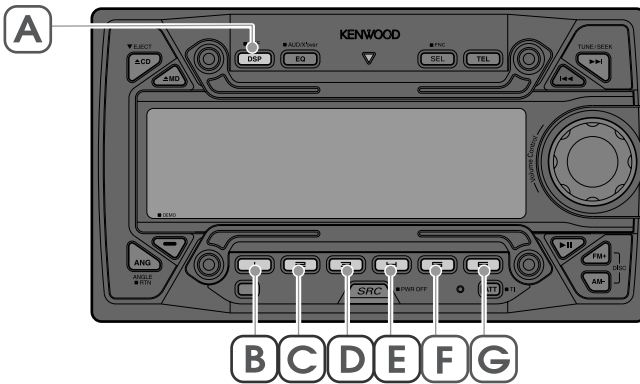
押すたびに次の順で切り替わります。



10秒間以上、なにも操作しないでくとサウンドフィールドの選択を終了します。

DSP（デジタルシグナルプロセッサー）の設定ができます。
また、イコライザーカーブの設定や調節をします。

DSP/イコライザーコントロール



DSPの設定 (DPX-9200WMPのみ)

DSPの効果を設定します。

1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 設定する項目と値を選択します

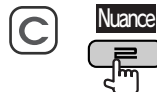
サウンドフィールドコントロール設定
(疑似音場効果の呼び出し)



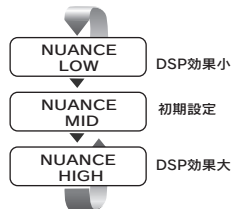
押すたびに次の順に切り替わります。



レベル設定 (DSP効果のレベル調節)



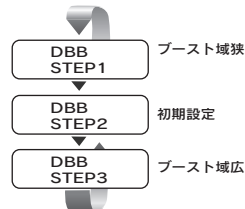
押すたびに次の順に切り替わります。



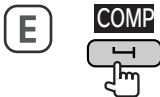
バスブースト設定 (リア側の低音量の調節)



押すたびに次の順に切り替わります。



コンプレッション設定 (ダイナミックレンジを圧縮して小さな音を聞きやすくする)



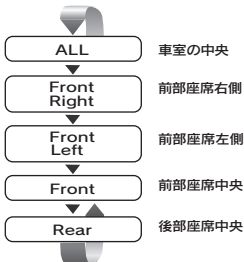
押すたびに次の順に切り替わります。



ポジション設定 (聴く位置を設定してDSP効果を調節)



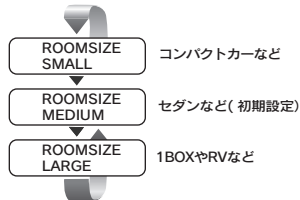
押すたびに次の順に切り替わります。



ルームサイズ設定 (車室サイズに合わせてDSP効果を調節)



押すたびに次の順に切り替わります。



- ホールシミュレーション設定が“Bypass”（バイパス）の場合は、レベル設定とバスブースト設定は行えません。
- ポジションが“ALL”（車室内の中央）の場合は、ルームサイズ設定は行えません。

3 DSP調整モードを終了します



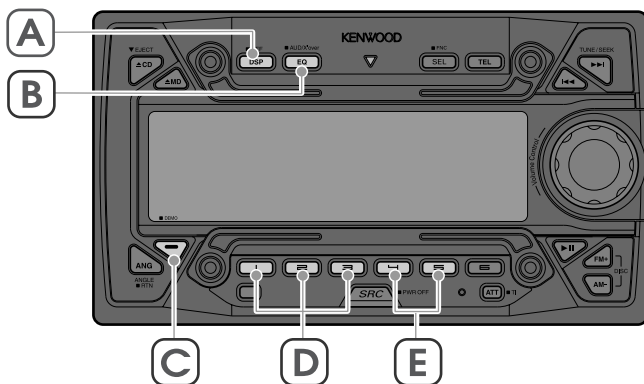
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

- 左記の操作方法以外でもDSP調整モードを設定することができます。

FM/AMでDSP調整モード項目の選択、

1/2/3/4で設定値の選択ができます。

DSP/イコライザーコントロール



ユーザーDSP設定のメモリー (DPX-9200WMPのみ)

DSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

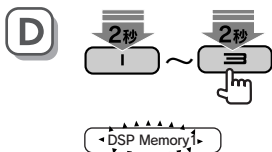
1 DSPを設定します

「DPSの設定」(52ページ)の手順1~2を参照してDSPの設定をします。

2 ユーザーDSPモードにします



3 メモリーするボタン (1~3のいずれか) を選びます



“DSP Memory○”表示が1回点減するまで押し続けます。

- 手順2または3の操作をする前に、DSP調整モードが解除された場合は、再び **DSP** (DSP) を押してDSP調整モードにしてから手順2の操作をしてください。

ユーザーDSP設定の呼び出し (DPX-9200WMPのみ)

メモリーしたDSPのユーザー設定を呼び出します。

1 DSP調整モードにします

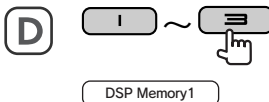


DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 ユーザーDSPモードにします



3 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



メモリーされているDSP設定が呼び出されます。

4 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イコライザーカーブの選択

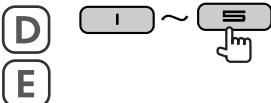
イコライザーカーブを呼び出します。

1 イコライザーコントロールモードにします



2 イコライザーカーブを選択します

DPX-9200WMP



以下のように切り替わります。

押すボタン	イコライザーカーブ
ROCK I	ROCK ロック
POPS E	POPS ポップス
DANCE E	DANCE ダンス
VOCAL I	VOCAL ボーカル
FLAT S	FLAT フラット

DPX-8200WMP



押すたびに次の順で切り替わります。



イコライザーカーブの調節をしたときは、“User”から選択が始まります。

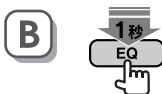
3 イコライザーコントロールモードを終了します

DPX-9200WMP



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

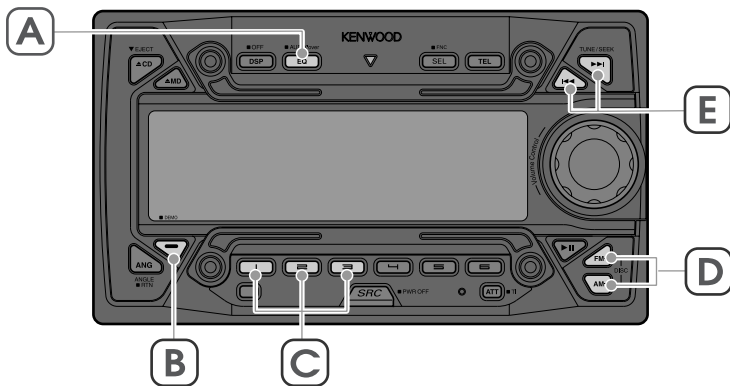
DPX-8200WMP



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

DSP/イコライザーコントロール



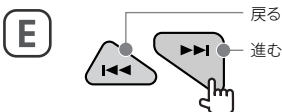
イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 イコライザーコントロールモードにします



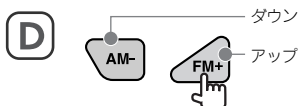
2 調節する周波数を選びます



DPX-9200WMPでは60Hz~16kHz（9ステップ）から選択します。

DPX-8200WMPでは60Hz~16kHz（7ステップ）から選択します。

3 レベルを調節します



-12dB~+12dB（13ステップ）から選択します。

4 イコライザーコントロールモードを終了します

DPX-9200WMP



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

DPX-8200WMP



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ユーザーイコライザー設定のメモリー

(DPX-9200WMPでの操作)

イコライザー設定を3種類までメモリーしておくことができます。

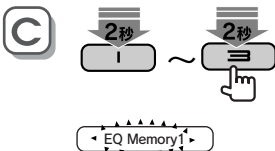
1 イコライザーカーブを設定します

「イコライザーカーブの調節」(56ページ)を参照してイコライザーカーブの調節をします。

2 ユーザーイコライザーモードにします



3 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“EQ Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

手順2または3の操作をする前に、イコライザーコントロールモードが解除された場合は、再び **EQ** (EQ) を押してイコライザーコントロールモードにしてから手順2の操作をしてください。

ユーザーイコライザー設定のメモリー

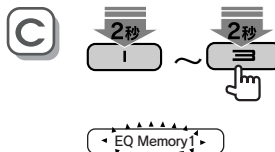
(DPX-8200WMPでの操作)

イコライザー設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

「イコライザーカーブの調節」(56ページ)を参照してイコライザーカーブの調節をします。

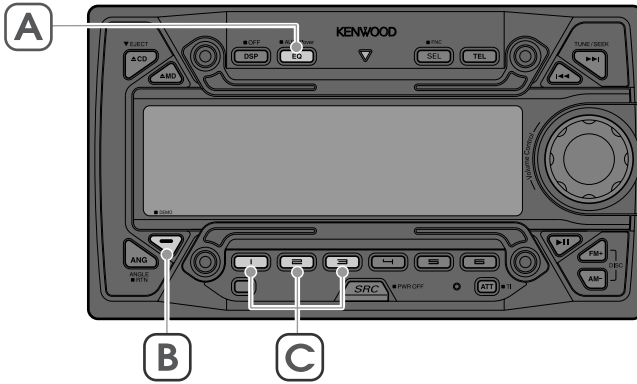
2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“EQ Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

手順2の操作をする前に、イコライザーコントロールモードが解除された場合は、再び **EQ** (EQ) を押してイコライザーコントロールモードにしてから手順2の操作をしてください。

DSP/イコライザーコントロール



ユーザーイコライザー設定の呼び出し

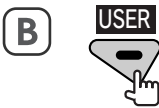
(DPX-9200WMPでの操作)

メモリーしたイコライザーカーブのユーザー設定を呼び出します。

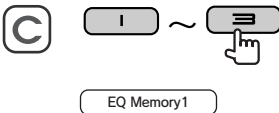
1 イコライザーコントロールモードにします



2 ユーザーイコライザーモードにします



3 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

4 イコライザーコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ユーザーイコライザー設定の呼び出し

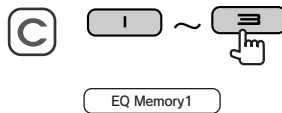
(DPX-8200WMPでの操作)

メモリーしたイコライザーカーブのユーザー設定を呼び出します。

1 イコライザーコントロールモードにします

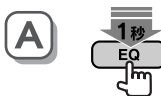


2 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

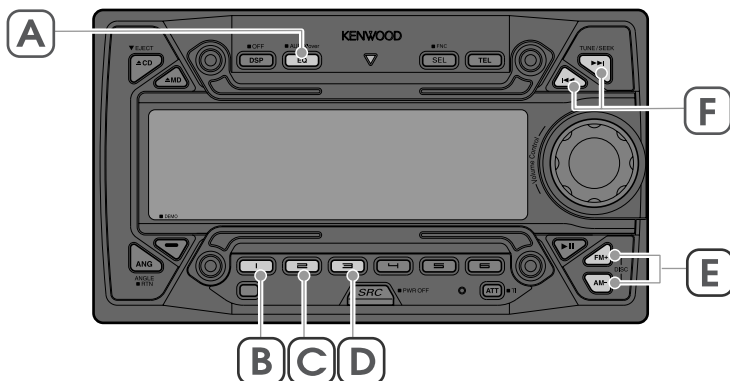
3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

オーディオコントロール



オーディオコントロール

(DPX-9200WMPでの操作)

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



“AUDIO CONTROL MODE”と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 オーディオコントロールモードを選びます



押すたびに、「オーディオコントロールモード」、「クロスオーバーモード」とに切り替わります。

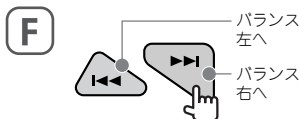
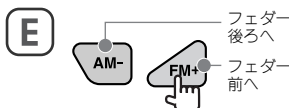
3 設定項目と設定値を選択します

バランス/フェダー設定

1. バランス/フェダー項目を選択します



2. 値を選択します



押すたびに次のように切り替わります。

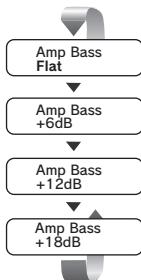
設定項目	設定値
Balance (左右の音量バランス)	L15~00~R15
Fader (前後の音量バランス)	F15~00~R15

音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。
また、交通情報を受信時の音量を設定します。

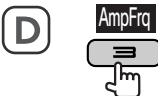
アンプバス設定* (アンプ低音出力レベル)



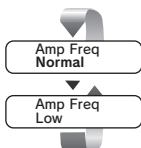
押すたびに次の順に切り替わります。



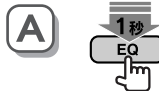
アンプ周波数設定* (アンプ低音中心周波数)



押すたびに次の順に切り替わります。



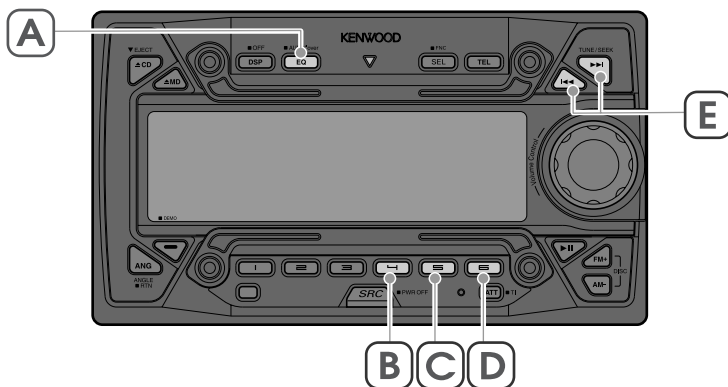
4 オーディオ調整モードを終了します



1 秒以上押し続けるとオーディオコントロールモードが終了します。

- *マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(101ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。
- 左記の操作方法以外に で “AMP Bass” と “AMP Freq” の設定値の選択ができます。
- “AMP Bass” と “AMP Freq” で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。

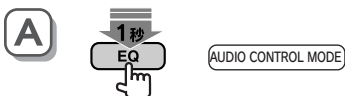
オーディオコントロール



クロスオーバーコントロール (DPX-9200WMPのみ)

クロスオーバーネットワークなどを設定します。

1 オーディオ調整モードにします



“AUDIO CONTROL MODE”と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 クロスオーバーモードを選びます



押すたびに、「オーディオコントロールモード」、「クロスオーバーモード」とに切り替わります。

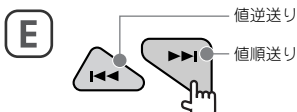
3 設定項目と値を選択します

HPFクロスオーバー設定

1.設定項目を選択します



2.値を選択します



押すたびに次の順に切り替わります。

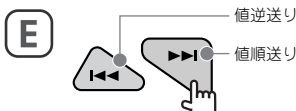
設定項目	設定値
HPF-F* (フロント低音カット)	Off /30/60/90/120/ 150/180/250 (Hz)
HPF-R* (リア低音カット)	Off /30/60/90/120/ 150/180/250 (Hz)
HPF Slope* (低音カットスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)

LPFクロスオーバー設定

1.設定項目を選択します



2.値を選択します

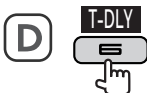


押すたびに次の順に切り替わります。

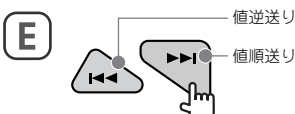
設定項目	設定値
LPF* (ノンフェーダー高音カット)	60/80/100/120/ 150/ Off (Hz)
LPF Slope* (高音カットスロープ)	12 /18/24 (dB/Oct.)
N-F (ノンフェーダー プリアウト出力レベル)	--- ~ 00 ~ +10
N-F Phase (ノンフェーダー出力位相)	Normal (正相) /Reverse (逆相)

タイムディレイ設定

1. 設定項目を選択します



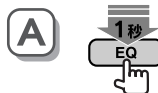
2. 値を選択します



押すたびに次の順に切り替わります。

設定項目	設定値
T-DLY F* (フロント遅延時間)	Off /0.5~18 (ms)
T-DLY R* (リア遅延時間)	Off /0.5~18 (ms)
T-DLY NF* (ノンフェーダー遅延時間)	Off /0.5~18 (ms)

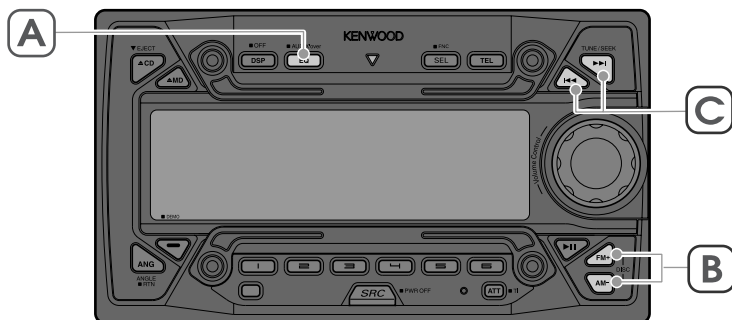
4 オーディオ調整モードを終了します



1 秒以上押し続けるとオーディオコントロールモードが終了します。

- *マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(101ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。
- “LPF”、“LPF Slope”、“N-F”、“N-F Phase”、“T-DLY NF”は「ファンクションセット」(68ページ)の“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに選択できます。
- 左記の操作方法以外に **FM+** **AM+** で各クロスオーバー設定の項目の選択ができます。

オーディオコントロール



オーディオコントロール

(DPX-8200WMPでの操作)

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



“AUDIO CONTROL MODE” と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

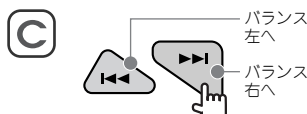
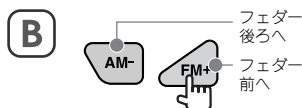
2 コントロールモードを選びます



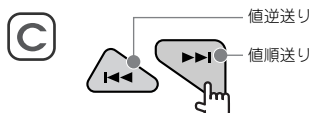
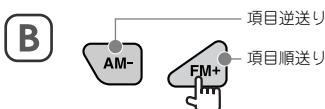
押すたびに、「バランス/フェダーモード」、「クロスオーバーモード」、「アンプコントロールモード」とに切り替わります。

3 設定項目と値を選択します

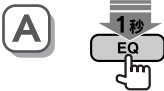
バランス/フェダーモード中は・・・



その他のモード中は・・・



4 オーディオ調整モードを終了します



1 秒以上押し続けるとオーディオコントロールモードが終了します。

設定できる項目と値は次のとおりです。

- *マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(101ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。
- “LPF”、“N-F Level”、“N-F Phase”は「ファンクションセット」(68ページ)の“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに設定できます。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。

バランス/フェダーモード中の設定項目

設定項目	設定値
Balance (左右の音量バランス)	L15~ 00 ~R15
Fader (前後の音量バランス)	F15~ 00 ~R15

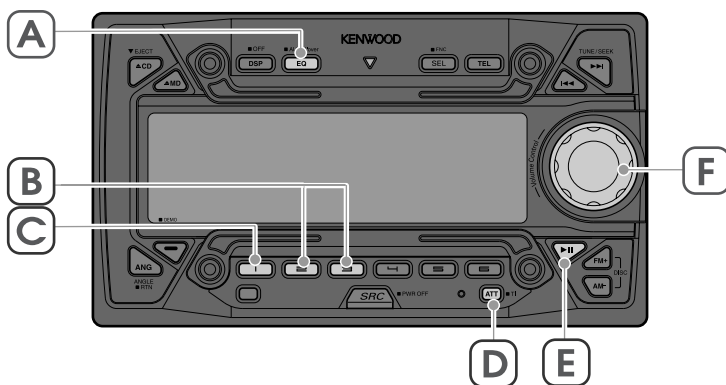
アンプコントロールモード中の設定項目

設定項目	設定値
Amp Bass* (アンプ低音出力レベル)	Flat /+ 6 /+12/ +18 (dB)
Amp Freq* (アンプ低音中心周波数)	Normal /Low

クロスオーバーモード中の設定項目

設定項目	設定値
HPF-Front* (フロント低音カット)	Off /40/60/80/100 /120/150/180/220 (Hz)
HPF-Rear* (リア低音カット)	Off /40/60/80/100 /120/150/180/220 (Hz)
LPF* (ノンフェダー高音 カット)	50/80/120/ Off (Hz)
N-F Level (ノンフェダー プリアウト出力レベル)	--- ~ 00 ~ +10
N-F Phase (ノンフェダー出力 位相)	Normal (正相) /Reverse (逆相)

オーディオコントロール



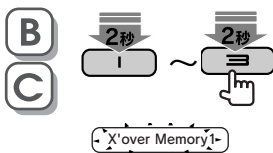
ユーザーオーディオ設定のメモリー

クロスオーバーコントロール設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 クロスオーバーコントロールを設定します

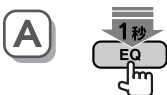
DPX-9200WMPは「クロスオーバーコントロールコントロール」(62 ページ)、
DPX-8200WMPは「オーディオコントロール」(64 ページ)を参照してクロスオーバーコントロールを設定します。

2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“X'over Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

3 オーディオコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとオーディオコントロールモードが終了します。

● “N-F” / “N-F Level” 項目の設定値はメモリーされません。

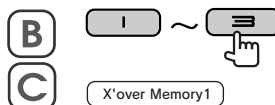
ユーザーオーディオ設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 クロスオーバーコントロールモードにします

DPX-9200WMPは「クロスオーバーコントロールコントロール」(62 ページ)、
DPX-8200WMPは「オーディオコントロール」(64 ページ)を参照してクロスオーバーコントロールモードにします。

2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



メモリーされているクロスオーバー設定が呼び出されます。

3 オーディオコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとオーディオコントロールモードが終了します。

交通情報音量設定

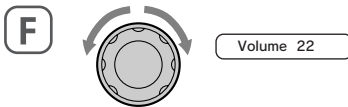
交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



“Traffic Information” と表示されるまで押し続けます。

2 設定したい音量にします



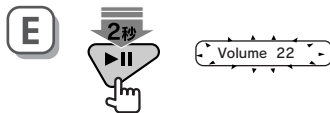
3 音量をメモリーします

DPX-9200WMP



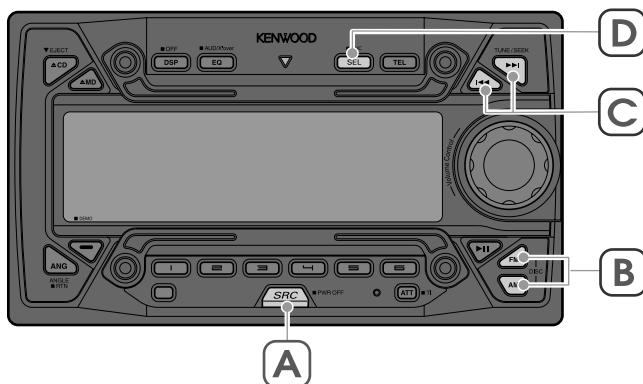
音量表示が1回点減するまで押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

DPX-8200WMP



音量表示が1回点減するまで押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

Function



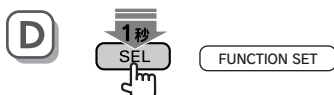
ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定したい項目があるソースにします

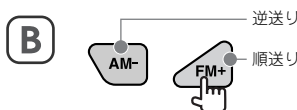


2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します



4 設定値を選択します



5 ファンクションセットモードを終了します



- *マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(101 ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。
- []内の表示はDPX-8200WMPの表示です。

全モード中の設定項目 (DPX-9200WMPのみ)

設定項目	設定値
電話音声出力 (受話音スピーカー設定)	左/右
着信コール音量設定 (着信時の呼び出し音の音量設定)	00～22～35
電話自動着信 (自動応答時間設定)	Off/5/7/10秒
電話ダウンロード (携帯電話メモリーの読み込み)	読み込みの方法は80ページをご覧ください。
電話メモリークリア (登録メモリーダイヤルの消去)	消去の方法は81ページをご覧ください。
着信ダイヤル番号表示 (着信時に相手の電話番号を表示)	On/Off

- “TELコネクタ”項目が“BUS”に設定されているときは、携帯電話を接続しているときに上記項目の表示・設定が可能です。また、“PLUG”に設定されているときは、上記項目のうち“電話音声出力”項目のみ表示・設定ができます。
- “電話音声出力”項目の設定は、ハンズフリーシステムのハウリングを防ぐため、運転席とは逆のスピーカー (右ハンドルの車の場合は左スピーカー) に設定してください。

MD/CD/MP3/WMA/Changerモード中の設定項目

設定項目	設定値
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/Manual

- MDプレイ時とCD/MP3/WMAプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

本機のいろいろな機能を設定します。

AUXモード中の設定項目

設定項目	設定値
AUX VOL (本機内蔵AUXソース時の入力レベル設定)	+00～+15 (dB)

- “AUX VOL” 項目は “AUX” 項目が “On” に設定されているときに表示・設定が可能です。

TUNERモード中の設定項目

設定項目	設定値
Seek* (チューニングモード設定)	AUTO 1[Auto 1]/ AUTO 2[Auto 2]/ Manual
MONO* (FM放送モノラル受信設定)	On/Off
AME Ready (オートメモリー)	設定の方法は27ページ をご覧ください。

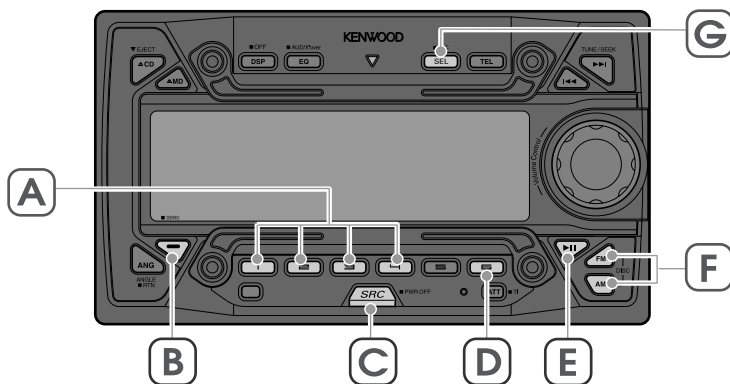
- “MONO” 項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケータが点灯します。

ALL OFFモード中の設定項目

- AUXソースを使用しないときは “AUX” 項目を “Off” に設定してください。 “On” のまま使用すると雑音が出ることがあります。
- “BRIGHT” 項目は車両のライトスイッチをオン時とオフ時のそれぞれで設定が可能です。初期設定値はライトスイッチがオン時は1、ライトスイッチがオフ時は3です。

設定項目	設定値
BEEP* (ビープ音設定)	On/Off
FM DIVER* (DPX-9200WMPのみ) (FMダイバシティ接続設定)	On/Off
Preout* (プリアウト出力選択)	REAR[Rear]/ N-F
BRIGHT* (DPX-9200WMPのみ) (ディスプレイ表示の明るさを設定)	1 / 2 / 3 / 4
MD Group* (MDグループ管理機能設定)	On/Off
MD漢字優先表示* (MDタイトルの漢字の優先表示)	On/Off
CD漢字優先表示* (CDテキストの漢字の優先表示)	On/Off
オープニング画面表示 [Opening]* (電源オン時のデモンストレーション)	On/Off
コード書き込み準備 [CODE STBY] (セキュリティコードの登録)	登録の方法は70 ページをご覧ください。
NAV . MUTE [Nav.Att]* (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	On/Off
AUX* (AUXソースの切り替え設定)	On/Off
TELコネクタ* (DPX-9200WMPのみ) (携帯電話接続タイプ設定)	BUS/PLUG
内蔵 AMP [Built in AMP]* (内蔵アンプの出力設定)	On/Off
S.I.* (盗難防止用警告ランプ設定)	On/Off
表示データダウンロード* (DPX-9200WMPのみ) (画像データのダウンロード)	登録の方法は72 ページをご覧ください。

Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

● 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

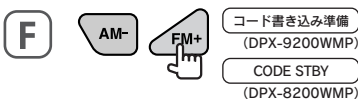


2 ファンクションセットモードにします

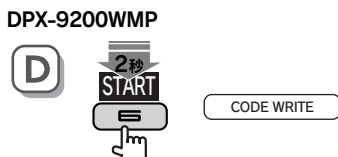


“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

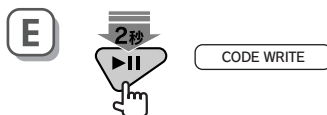
3 セキュリティコード項目を選択します



4 セキュリティコード入力を開始します



DPX-8200WMP



“CODE WRITE” と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

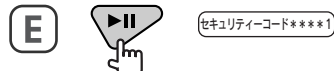
ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します

DPX-9200WMP

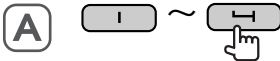


DPX-8200WMP



セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

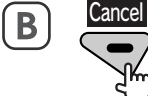
7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

コード入力を中止するには・・・

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



8 セキュリティコードを確認登録します

DPX-9200WMP



DPX-8200WMP



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

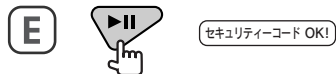
セキュリティコードを手順5の方法で入力します。

2 セキュリティコードを確認します

DPX-9200WMP



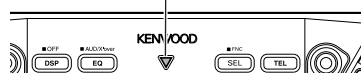
DPX-8200WMP



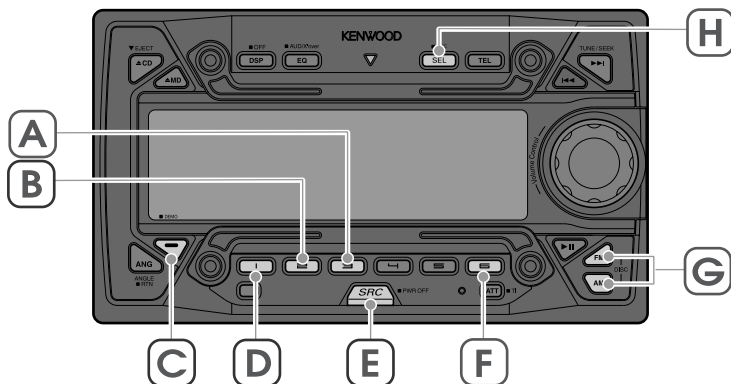
本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“セキュリティコード NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、**SRC** (SRC) を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I (セキュリティインジケーター) 機能を採用しています。「ファンクションセット」の“S.I.”項目を“On”にしておくと、ACGをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。設定方法については「ファンクションセット」(68 ページ) をご覧ください。

S.I (セキュリティインジケーター)



Function



画像のダウンロード

(DPX-9200WMPのみ)

動画や壁紙を本機にダウンロードして、ディスプレイに表示します。

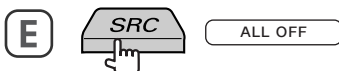
1 CD-R/CD-RWを作成します

画像のダウンロード用のCD-R/ CD-RWの作成方法はホームページ『<http://www.kenwood.net-disp.com>』をご覧ください。

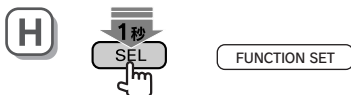
2 CD-R/CD-RWを挿入します

ダウンロードするファイルの入ったCD-R/ CD-RWをDPX-9200WMPに挿入してください。

3 ALL OFFモードにします



4 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

5 表示ダウンロード項目を選択します



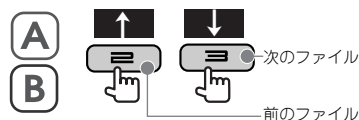
6 画像のダウンロードモードに入ります



“表示データを探しています”と表示されるまで押し続けます。

ダウンロードできる画像ファイルが見つからない場合は“表示データが見つかりません”と表示されます。(OK) ボタンを押すと画像のダウンロードモードが解除されます。

7 ダウンロードしたい画像ファイルを選択します



ファイル名をスクロールするには・・・



8 画像のダウンロードを開始します



ダウンロードが終了すると、“ダウンロード完了”と表示されます。

DPX-9200WMPでは動画や壁紙をダウンロードすることができます。

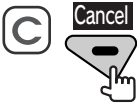
DPX-9200WMPにダウンロードできるファイルや、CD-R/CD-RWの作成方法は『<http://www.kenwood.net-disp.com>』をご覧ください。



- “ダウンロード中”と表示されている間は、ダウンロード中止以外の操作や、エンジンの始動・切断などはしないでください。
- 画像のダウンロードには最大で30分程度の時間がかかります。

ダウンロード中にダウンロードを中止するには

1. キャンセルします。




中止するかを確認するために“ダウンロードを中止しますか？”というメッセージが表示されます。

2. ダウンロードを中止するか続行するかを選びます。

中止するときは・・・



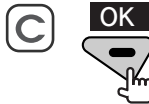
“ダウンロードを中止しました”というメッセージが表示されたら、もう一度  (OK) ボタンを押します。


続行するときは・・・



ダウンロードを続行します。

9 画像の登録を終了します

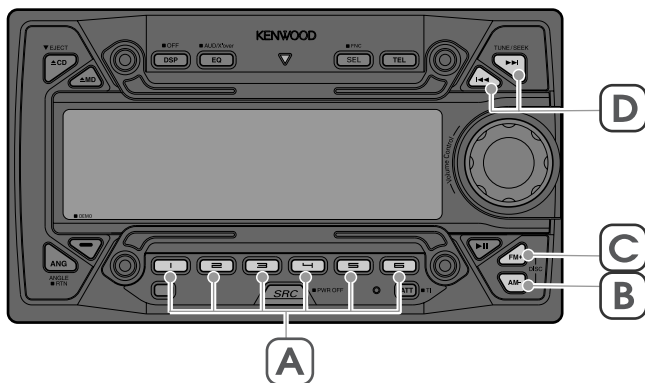


ファンクションモードを終了するときには、 (SEL) (FNC) ボタンを押します。



- ダウンロードできる画像は、“動画”と“壁紙”とも各1ファイルです。新しい画像をダウンロードすると、今までの画像に書き替えられます。なお、初期設定の画像に戻したいときは、ホームページ『<http://www.kenwood.net-disp.com>』より、初期設定時の画像をダウンロードしてください
- ダウンロードした画像を表示させるには「壁紙の選択」(39ページ)、「動画の選択」(40ページ)を参照してください。

TVコントロール



チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力切り替わります。

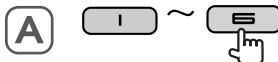
プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

別売品のLX BUS TVモニター“f-LZ77”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

● マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

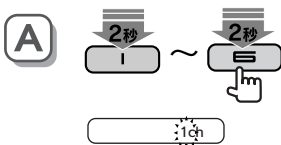
1 バンドを選択します



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

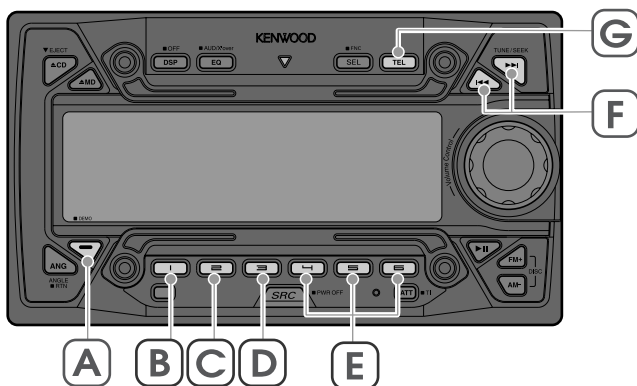
- DPX-9200WMPではキーモードをディスプレイキーモードにしているときは「マルチキー切り替え」(30ページ)でソースキーモードに切り替えてから上記の操作を行ってください。

● 音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



Telephoneコントロール



ハンズフリーで電話をかける

携帯電話を持たずに電話をします。

- 携帯電話接続時の注意事項が「携帯電話を本機に接続する前に」と「携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは」(8ページ)に記載されています。使用する前にお読みください。
- 電話番号を携帯電話からDPX-9200WMPに読み込んでいないと使用できません。電話番号の読み込みかたは「携帯電話メモリー読み込み」(80ページ)を参照してください。

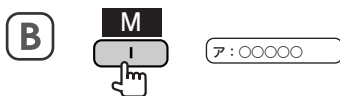
1 テレホンモードにします



2 電話番号を選択します

ネーム検索モードで電話番号を選びます
(名前の頭文字の読みから選択します)

1. ネーム検索モードにします。



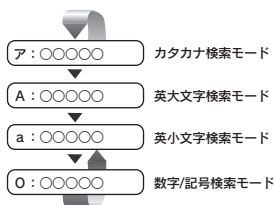
2. 電話番号を選びます。



押すたびに名前が切り替わります。

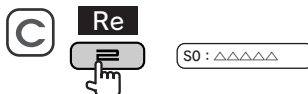
表示される“名前”は携帯電話にメモリーされている“読み”に準じます。
“検索文字: 名前”と“電話番号”が表示されます。

(5) を押すと検索する文字種が以下のよう切り替わります。



リダイヤル検索モードで電話番号を選びます
(以前かけたことのある電話番号より選択します)

1. リダイヤル検索モードにします。



2. 電話番号を選びます。



以前にかけた最新の10件から電話番号、名前で選択します。

“リダイヤル番号: 名前”と“電話番号”が表示されます。

別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話やDPX-9200WMPからの携帯電話のコントロールなどができます。

(別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続した場合は「Hands-free call コントロール」 82ページをご覧ください)

着信履歴検索モードで電話番号を選びます
(以前かかってきたことのある電話番号より
選択します)

1. 着信履歴検索モードにします。



2. 電話番号を選びます。



以前にかかってきた最新の10件から電話番号
を選択します。“着信履歴番号: 名前”と“電
話番号”が表示されます。

ユーザーダイヤルメモリーから電話番号を選
びます

1. ユーザーダイヤルモードにします。



2. 電話番号を選びます。



メモリーしてある6件の電話番号から選択します。

“ユーザーダイヤルメモリー番号: 名前”と
“電話番号”が表示されます。

3. ユーザーダイヤルモードを終了します。



- “名前” は、DPX-9200WMPに該当する電話番号
がメモリーされていない場合は表示されません。
- ユーザーダイヤルのメモリーのしかたは「ユーザ
ーダイヤルメモリー」(79 ページ)を参照してくだ
さい。

3 電話をかけます



“Now calling”と表示されるまで押し続けます。
相手が応答するとハンズフリー通話ができます。
通話中は、選択中のソースが一時停止状態に
なります。

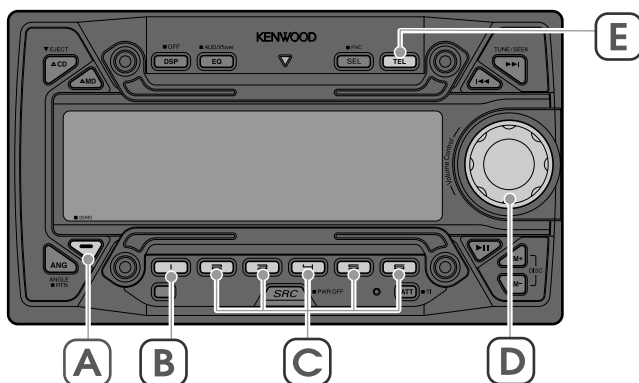
- 通話中に **SRC** (SRC) を押すと通話は切断され、
オーディオソースに切り替わります。
- 接続している携帯電話によっては、通信事業会
社からの案内メッセージなどがスピーカーから聞こ
えないことがあります。

4 通話を終了します



電話をかける前のソースに戻ります。

Telephoneコントロール



● ハンズフリーで電話を受ける

携帯電話を持たずに電話にでられます。

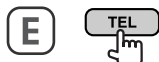
1 電話がかかってきたら…



ハンズフリーで通話ができます。
 着信中は、“発信者の名前”と“電話番号” (DPX-9200WMPに該当する電話番号がメモリーされていない場合は“TELEPHONE”と“電話番号”)が表示されます。
 「ファンクションセット」(68 ページ)の“電話自動着信”項目が5、7、または10秒に設定されている場合は、設定した時間が経つと自動的に応答し、ハンズフリー通話ができます。
 通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 着信状態のときに **SRC** (SRC) を押すと、電話を応答せずに切ることができます。
- DPX-9200WMPの操作では応答保留にすることはできません。
- 発信者からの番号通知がない場合や、「ファンクションセット」(68 ページ)の“着信ダイヤル番号表示”項目を“Off”に設定している場合の着信表示は、“TELEPHONE”表示になります。

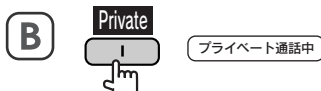
2 通話を終了します



電話をかける前のソースに戻ります。

● プライベート通話

ハンズフリー通話中に携帯電話での通話に切り換えます。



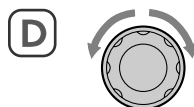
通話中に押すたびに、ハンズフリー通話とプライベート通話とに切り替わります。

- 発信中または着信中にプライベート通話にすると正常に発信・着信ができない場合があります。プライベート通話への切り替えは通話中に行ってください。
- 接続している携帯電話によっては、プライベート通話機能が正常に動作しない場合があります。本機能の対応している携帯電話の機種についてはカタログをご覧ください。

受話音量の調節

ハンズフリー通話中の相手の声の大きさを調節します。

ハンズフリー通話中に…



相手の声の大きさを調節します。
 次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節した受話音量となります。

- 受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。
- エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は、受話音量に比例して大きくなります。

着信音量の調節

呼び出し音の大きさを調節します。

着信中に…



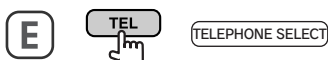
呼び出し音の大きさを調節します。
次回からの呼び出し音は、自動的にこの調節した音量となります。

この呼び出し音量の設定は「ファンクションセット」(68 ページ) の“着信コール音量設定”項目と同一の設定です。
このため、“着信コール音量設定”項目の設定値は、この機能で設定した設定値に置き換わります。

ユーザーダイヤルメモリー

メモリーボタンに電話番号をメモリーします。

1 テレホンモードにします



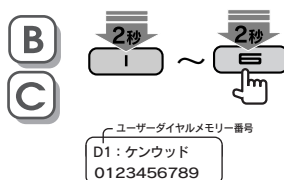
2 メモリーしたい電話番号を選びます

「ハンズフリーで電話をかける」(76 ページ) の手順 2 を参照して電話番号を選びます。

3 ユーザーメモリーモードにします



4 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます

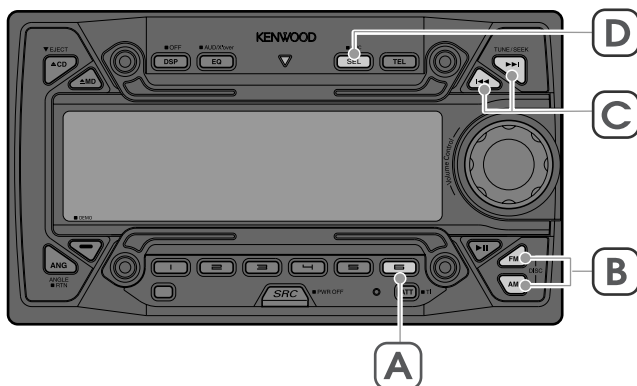


“D○:△△△△△”と表示されるまで押し続けます。

5 ユーザーダイヤルモードを終了します



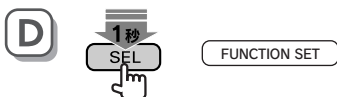
Telephoneコントロール



携帯電話メモリーダイヤル読み込み

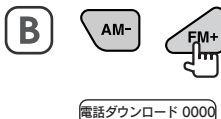
携帯電話にメモリーされている電話番号を最大100件まで読み込みます。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

2 電話番号読み込み項目を選択します



3 電話番号の読み込み始める番号を指定します



押すたびに、携帯電話から読み込みを始める電話番号のメモリー番号の指定が変わります。“0100” と指定した場合、携帯電話のメモリー番号の「100」から「199」を読み込みます。指定できる番号は50件単位で変わります。

4 電話番号読み込みを開始します



ディスプレイ右に電話のグラフィックが表示されるまで押し続けます。

読み込みが終了するとインジケータが点滅から点灯に変わります。

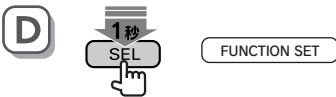
- 携帯電話から100件の電話番号を読み込むためには、2～4分程度の時間がかかります。
- 100件分のメモリー番号のうち、電話番号や名前が登録されていないメモリー番号があった場合は、登録されていないメモリー番号としてそのまま読み込まれます。また、シークレット機能がかったメモリー番号は読み飛ばされます。

携帯電話からメモリーダイヤルを読み込みます。
 携帯電話の接続のしかたは、8ページの「携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは」をご覧ください。

メモリーダイヤル消去

携帯電話から読み込んだ電話番号やユーザーメモリー、ダイヤル履歴、着信履歴などのDPX-9200WMPにメモリーしてある電話番号をすべて消去します。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

2 電話番号の消去項目を選択します



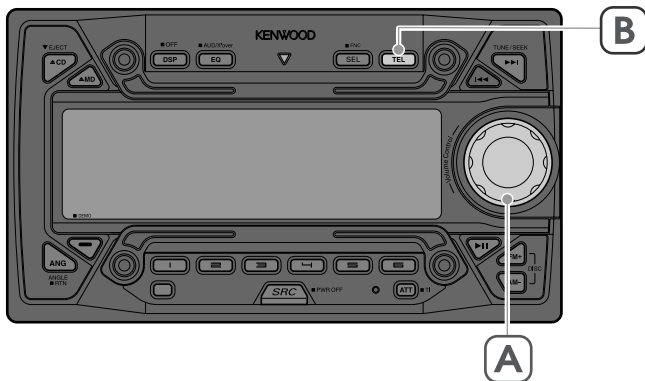
3 電話番号の消去を実行します



押すとビーブ音が2回鳴り、電話番号が消去されます。

● 電話番号の消去は、1つずつ個別に行う方法はありません。

Hands-free call コントロール



●ハンズフリーキットCA-HF300（別売品）を使用して携帯電話を接続した場合は、「ファンクションセット」（68 ページ）の“TELコネクタ”項目を“PLUG”に設定してから使用してください。“BUS”の設定のままでは正しく動作しません。

●ハウリングを防止するため、携帯電話の受話音量は、最大に設定してください。

上記のほかにも、携帯電話接続時の注意事項が「携帯電話を本機に接続する前に」（8 ページ）と「携帯電話をCA-HF300で接続したときは」（9 ページ）に記載されています。使用する前にお読みください。

電話をかける

携帯電話を持たずに通話をします。

1 テレホンモードにします



TELEPHONEモードになります。TELEPHONEモード中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

電話機によってはスピーカーから自分の声が聞こえる（エコー）ことがあります。エコーが発生したときは、DPX-9200WMPの音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は音量に比例して大きくなります。

2 携帯電話を操作して電話をかけます

携帯電話の操作方法は、携帯電話に付属の説明書をご覧ください。

相手が応答するとハンズフリー通話ができます。



注意


携帯電話の操作は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。走行中に操作を行うと、交通事故の原因となります。

3 テレホンモードを終了します



テレホンモードにする前のソースに戻ります。

4 通話を終了します

携帯電話のオンフックボタン  を押します。

別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話ができます。

(別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続した場合は「Telephone コントロール」76ページをご覧ください)

電話を受ける

携帯電話を持たずに通話をします。


1 電話がかかってきたら…



通話中

TELEPHONEモードとなります。
TELEPHONEモード中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

2 携帯電話を操作して電話を受けます

携帯電話のオフフックボタンを押します。
ハンズフリー通話ができます。



注意

携帯電話の操作は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。走行中に操作を行うと、交通事故の原因となります。

3 テレホンモードを終了します



テレホンモードにする前のソースに戻ります。

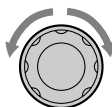
4 通話を終了します

携帯電話のオンフックボタンを押します。

受話音量の調節

ハンズフリー通話中の相手の声の大きさを調節します。

ハンズフリー通話中に…



相手の声の大きさを調節します。

次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節した受話音量となります。

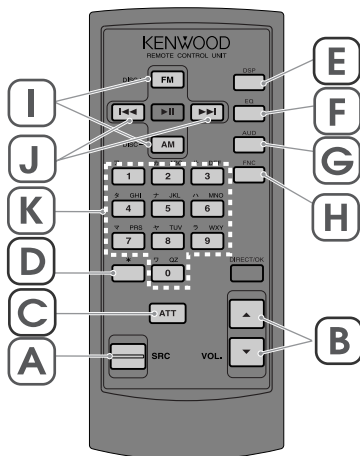


受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。

エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は、受話音量に比例して大きくなります。

リモートコントロール

各モード共通



ソース切り替え

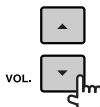
A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B



音量を調節します。

アッテネーター

C



ワンタッチで音量を小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL.▲を押しても元の音量に戻ります。

角度調節

D



操作パネルの角度を調節します。

DSPシステム

E



DSPシステムをオンにします。
DSPシステムがオン中に押すと、
DSP調節モードにします。(DPX-9200WMPのみ)
サウンドフィールドを選択します。
(DPX-8200WMPのみ)
1秒以上押すとDSPシステムがオフします。

イコライザー

F



イコライザーコントロールモードにします。
また、イコライザーカーブを選択します。
1秒以上押すとイコライザーコントロールモードが終了します。

オーディオコントロール

G



オーディオコントロールモードにします。
1秒以上押すとクロスオーバーモードになります。(DPX-9200WMPのみ)
クロスオーバーモードの設定項目を選択します。(DPX-9200WMPのみ)
オーディオコントロールモードの設定項目を選択します。
1秒以上押すとオーディオコントロールモード、クロスオーバーモードが終了します。

ファンクションセット

H



ファンクションセットモードにします。
もう一度押すと、ファンクションセットモードが終了します。

項目選択

I



DSP調整モード、ファンクションセットモードの設定項目を選択します。
オーディオコントロールモードの各設定項目を選択します。(DPX-8200WMPのみ)
オーディオコントロール中にフェダーを選択します。
イコライザーコントロールモードでレベルを選択します。

設定値選択

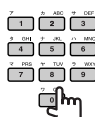
J



オーディオコントロールモード、DSP調整モード、ファンクションセットモードの設定値を選択します。
イコライザーコントロールモードで周波数を選択します。
オーディオコントロールモード中にバランスを設定します。

テンキー

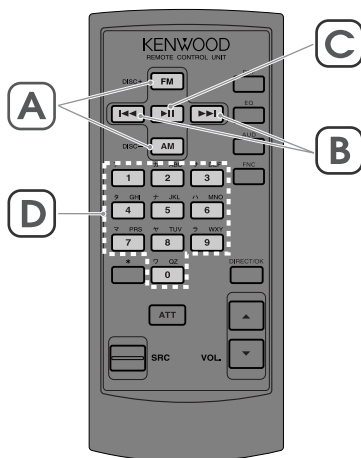
K



メモリーされているDSPのユーザーメモリーの番号を選択します。(1 ~ 3)
(DPX-9200WMPのみ)
クロスオーバーコントロールモード中にメモリーされているクロスオーバーコントロールのユーザーメモリーの番号を選択します。(1 ~ 3)
メモリーされているイコライザーカーブのユーザーメモリーの番号を選択します。(1 ~ 3)

リモートコントロール

CD/MP3/WMA/MD/ Changer モード



ディスクサーチ/フォルダ/グループサーチ

ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ

A



プレイするディスク/フォルダ/グループを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B



プレイする曲/ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

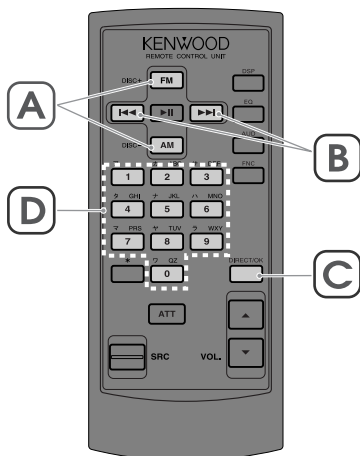
テンキー

D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
MP3/WMAファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。
グループ管理機能を使ってMDをプレイ中はテンキーに続けてトラックサーチキーを押すと、プレイ中のグループ内のトラックをダイレクトサーチできます。

TUNER モード



バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

選局

B



受信する放送局を選択します。

ダイレクトチューニング

C



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合

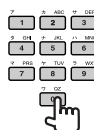
7 6 1

例：522kHz(AM)の場合

5 2 2

テンキー

D

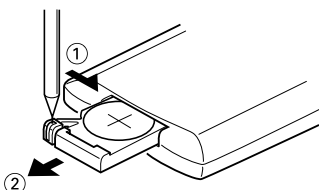


メモリーされている放送局の番号を選択します。(1 ~ 6)

DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

電池の入れかた

ペン先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。付属のリチウム電池（CR2025）を電池ボックスの表示にしたがって⊕と⊖を間違えないように入れてください。



● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、リチウム電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、新しいリチウム電池と交換してください。

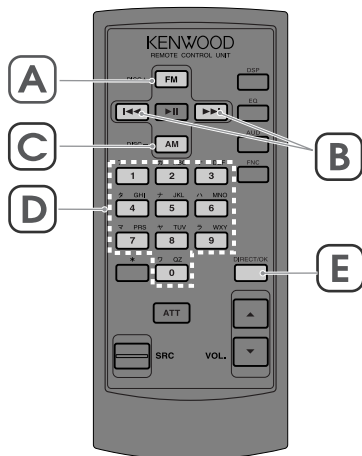


注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
 - 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
- また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

リモートコントロール

TV モード



バンド/ビデオ切り替え

A



受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

C



メイン音声/サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

B



受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチャンネル選択

E

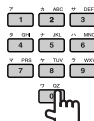


このボタンに続けて、受信するチャンネルをテンキーで指定します。
例：1チャンネルの場合

0 **1**

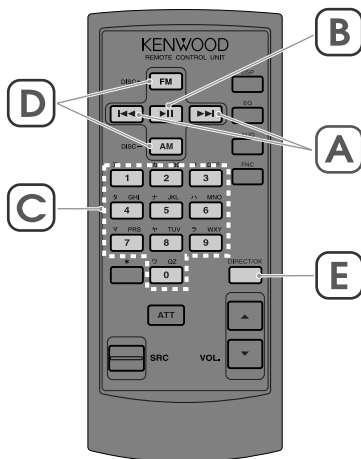
テンキー

D



メモリーされている放送局の番号を選択します。(**1** ~ **6**)
DIRECTキーに続けて、受信するTVチャンネルの数字を指定します。

DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)



カーソル

A



カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

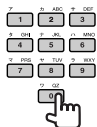
B



入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号) を切り替えます。

テンキー

C



文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合
(カタカナ)
[2] (9回押す)
例: 「h」を入力する場合
(英小文字)
[4] (2回押す)

文字選択

D



文字を順に切り替えます。

終了

E



登録が完了します。

- SNPS/DNPSを開始するには、DPX-9200WMPは本体の (5)、DPX-8200WMPは本体の (DISP) を2秒以上押します。

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 「ファンクションセット」の“内蔵AMP” / “Built in AMP” 項目が“Off”に設定されている。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(60/64ページ)
- 「ファンクションセット」の“内蔵AMP” / “Built in AMP” 項目を“On”に設定してください。(68ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(10ページ)

音質が悪い (音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。取付説明書を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(10ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

オーディオコントロールのノンフェダー項目が表示されない

- ファンクションセットの“Preout”項目が“REAR” / “Rear”に設定されている。
- ファンクションセットの“Preout”項目を“N-F”に設定してください。(68ページ)

正しく接続しているのにディスプレイ表示の明るさが変わらない (DPX-9200WMPのみ)

「ファンクションセット」(68ページ)の“BRIGHT”項目をライトスイッチをオン時とオフ時で同じ値に設定している。

BRIGHT項目は車両のライトスイッチをオン時とオフ時のそれぞれで設定が可能です。
「ファンクションセット」(68ページ)の“BRIGHT”項目の値を設定し直してください。

Disc/Changer mode

SRCボタンを押してもディスクに切り替わらない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付け直してください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中에서도音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDとMDの取り扱い」(12ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(10ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。(10ページ)

MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(10ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(19ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。

トラックリピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

Disc/Changer mode

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(19ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(19ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(20ページ)

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

- 表示部にすべての情報文字が表示されている。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はオートスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、アルバム名およびグループネームです。

ALL OFFモードにするとCDが1曲目の演奏に戻る

「ファンクションセット」の“CD漢字優先表示”項目を変更した。

“CD漢字優先表示”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(68ページ)

ALL OFFモードにするとMDが1曲目の演奏に戻る

「ファンクションセット」の“MD漢字優先表示”項目を変更した。

“MD漢字優先表示”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(68ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリビート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、O-Nスイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーのO-NスイッチをOにしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーのO-NスイッチをNにしてください。

MD Group

MDグループ機能が働かない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。

「ファンクションセット」(68ページ)の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

“MD Group”項目を“Off”に設定時はグループ情報が表示されません。

ディスクタイトルが表示できない

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

MD Group

聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「ファンクションセット」(68ページ)の“MD Group”項目を“Off”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

「ファンクションセット」の“MD Group”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に「ファンクションセット」(68ページ)の“MD Group”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

MP3/WMA

MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3/WMAファイルに拡張子が付いていない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (98ページ)に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“.MP3”を、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。
- 「CDとMDの取り扱い」(12ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDとMDの取り扱い」(12ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3/WMAファイル以外のファイルに“.MP3”または“.WMA”拡張子が付いている。

MP3/WMAファイル以外のファイルに付いている“.MP3”または“.WMA”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (98ページ)に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

—

MP3/WMAファイルをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとしている。

フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

Function Control

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

画像のダウンロードができない (DPX-9200WMPのみ)

CD-R/CD-RWの作成方法に原因があることがあります。

『<http://www.kenwood.net-disp.com>』をご覧ください。

Name Set

DNPSができない

- MDをプレイしている。
- マガジンランダムプレイがオンになっている。
- MP3/WMAファイルをプレイしている。
- MDにDNPSはできません。
- マガジンランダムプレイをオフにしてください。
- MP3/WMAが収録されたメディアにDNPSはできません。

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 101枚目/51枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて100枚分（DPX-9200WMP）/ 50枚分（DPX-8200WMP）です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

登録したはずのAUXネームが“AUX”に戻る

- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

“No Disc” と表示される

- マガジンにディスクが入っていない。
- ディスクを入れてください。

Display/DSP/Equalizer Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェーダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。
- 4スピーカーシステムにしてください。
- 取付説明書を参照して正しく接続し直してください。
- 「オーディオコントロール」(60/64ページ)を参照して、フェーダーやバランスを中央に調整してください。

Display/DSP/Equalizer Control

レベル、DSPバスブーストが調整できない (DPX-9200WMPのみ)

サウンドフィールドコントロール設定が“Bypass”に設定されている。

サウンドフィールドコントロール設定を“Bypass”以外に設定してください。(52ページ)

ルームサイズの調整ができない (DPX-9200WMPのみ)

ポジション設定が“ALL”に設定されている。

ポジション設定を“ALL”以外に設定してください。(52ページ)

イコライザーを調整しても効果が現れない

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

Telephone Control/ Hands-free call Control (DPX-9200WMPのみ)

ハンズフリー機能が正しく動作しない

「ファンクションセット」の“TELコネクタ”項目が正しく設定されていない。

CA-HF100またはCA-HF200を使用しているときは“BUS”に設定し、CA-HF300を使用しているときは“PLUG”に設定してください。(68ページ)

Telephone Control (DPX-9200WMPのみ)

テレフォンモードにできない (🔴 インジケーターが点灯しない/点滅する)

- 携帯電話が接続されていない。
(🔴 インジケーターが点灯しない)
- 携帯電話からメモリーダイヤルを読み込めない。
- メモリーダイヤルを消去した。
- 携帯電話に電話番号がメモリーされていなかった。
(🔴 インジケーターが点滅する)

- 携帯電話の電源をオフ、DPX-9200WMPの電源をオンにして、別売品のCA-HF100/CA-HF200に携帯電話がロックするまで差し込んでください。
- 「携帯電話メモリーダイヤル読み込み」(80ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-9200WMPに読み込んでください。

携帯電話のメモリーダイヤルが読み込めない

携帯電話が正しく接続されていない。

一旦、携帯電話をCA-HF100/CA-HF200から取り外してから、携帯電話の電源をオフ、DPX-9200WMPの電源をオンにして、CA-HF100/ CA-HF200にロックするまで差し込んでください。

Help ? MP3/WMA

本機はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1、MPEG 2、MPEG 2.5 Audio Layer 3規格のものです。

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：44.1 kHz, 48 kHz, 32 kHz
- ビットレート：48 kbps～192 kbps (DPX-9200WMP)
：64 kbps～192 kbps (DPX-8200WMP)

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1：12文字
- ISO 9660 Level 2：31文字
- Joliet：64文字
- Romeo：128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：100 (DPX-9200WMP)
50 (DPX-8200WMP)

- 最大フォルダ名：64文字

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ライティングソフトの設定

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてみてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

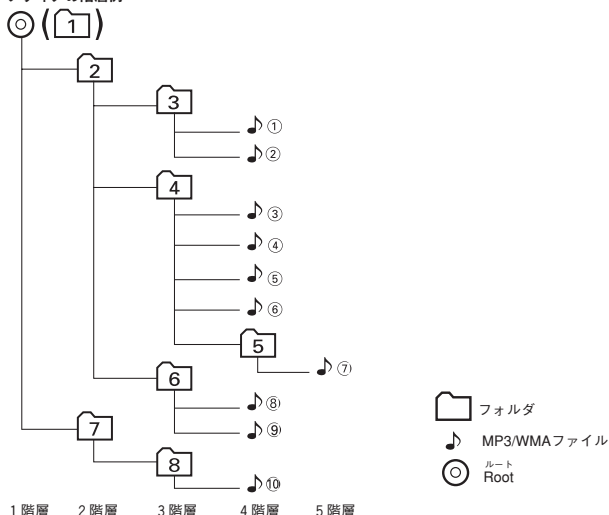
MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

押すボタン プレイ中の ファイルNo.		
♪④	♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・

押すボタン 現在の フォルダNo.		
4	3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ 8 ...	5 ➡ 6 ➡ 7 ➡ 8 ➡ 1 ...

♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと・・・

DPX-9200WMP 現在の フォルダNo.				
4	3	6	2	5

DPX-8200WMP 現在の フォルダNo.				
4	3	6	2	5

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。

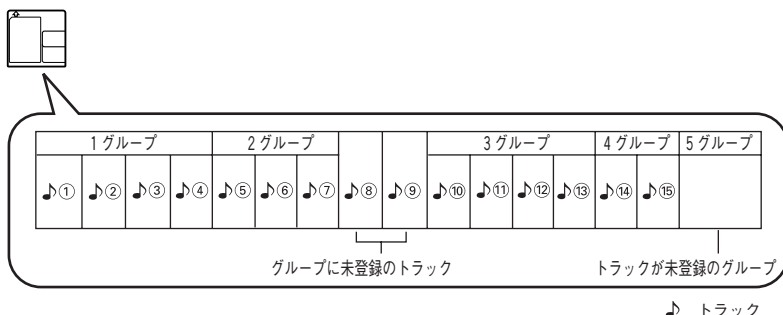
（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「ファンクションセット」（68ページ）の“MD Group”項目を“On”に設定しているときに使用できます。



- グループ管理機能を“On”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“Off”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・

現在のトラックNo.	ボタン操作	
♪ ⑥		
	♪ ⑥ の先頭 → ♪ ⑤ → ♪ ④ ...	♪ ⑦ → ♪ ⑩ → ♪ ⑪ ...

♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・

現在のグループNo.	ボタン操作	
3グループ		
	2グループ → 1グループ ...	4グループ → 1グループ ...

♪⑩ 再生中にグループセレクトを行うと・・・

現在のグループNo.	DPX-9200WMP ボタン操作	
3グループ		
	4グループ	2グループ → 1グループ

現在のグループNo.	DPX-8200WMP ボタン操作	
3グループ		
	4グループ	2グループ → 1グループ

Amp Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

Amp Freq

(アンプフリケンシー)

「Amp Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

内蔵AMP/Built in AMP

(内蔵アンプ出力設定)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“Off”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

AUX

(エーユーエックス)

ビデオなどの外部機器の出力を入力する機能です。AUX端子から入力された音は、AUXソースに切り替えることにより、本システムを使って聴くことができます。

また、ファンクションセットで、ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。AUX入力を使用していないときは、“Off”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

BEEP

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビップ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビップ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ビッピップ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

なお、BEEP音はプリアウトからは出力されません。

BRIGHT

車両のライトスイッチをオンとオフにしたときの本機の表示部の明るさをそれぞれ設定しておくことができる機能です。

CD漢字優先表示/MD漢字優先表示

CDテキストやMDタイトルなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するかの設定ができます。

On : 漢字で表示 (漢字が登録されていない場合は、カタカナまたはローマ字で表示)

Off : カタカナまたはローマ字で表示

DSP (Digital Signal Processor)

(デジタルシグナルプロセッサー)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

FM DIVER

(エフエムダイバーシティ)

2本のFMアンテナから一番受信状態の良いアンテナを瞬時に選び出し、自動的に常に受信状態の良いアンテナに切り替えるシステムです。

車両側で2本のアンテナに対応されている場合もありますが、別売品の汎用ダイバーシティ変換プラグ“CA-83U”などを使用すると、このFMダイバーシティシステムを未対応車でも活用することができます。詳しくはカタログなどをご覧ください。

HPF Slope

(ハイパスフィルタスロープ設定)

HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

HPF-F/HPF-Front/HPF-R/HPF-Rear

(ハイパスフィルターフロント/ハイパスフィルターリア)

サブウーファァーを追加するとき、この機能を使ってフロント/リア出力から低音を削除することができます。設定した周波数より低い音域をカットします。“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のTVモニター (f-LZ77など) です。

LPF

(ローパスフィルター)

ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。

“Off” に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF Slope

(ローパスフィルタースロープ設定)

LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

MD Group

(エムティグループ)

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(100ページ) もご覧ください。

MDLP

(エムディーエルピー)

MDの記録方式の規格です。本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3

(エムピスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(98ページ) をご覧ください。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

NAV.MUTE/Nav.Att

(ナビミュート)

カーナビゲーションシステムを接続すると、カーナビゲーションの音声案内時に、一時オーディオの音を小さくすることができます。

Preout

(プリアウト)

別売品のパワーアンプを接続するとき使用する出力端子です。

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力(ノンフェダー出力“N-F”)に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、グループタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくともスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

Seek

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1/Auto 1: 放送局を自動的に見つけ出します。
AUTO 2/Auto 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

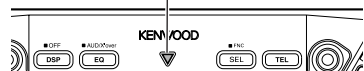
Manual: 1ステップずつ周波数が変わります。

S.I.

(セキュリティインジケーター)

この機能をオンにしておくと、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

S.I. (セキュリティインジケーター)



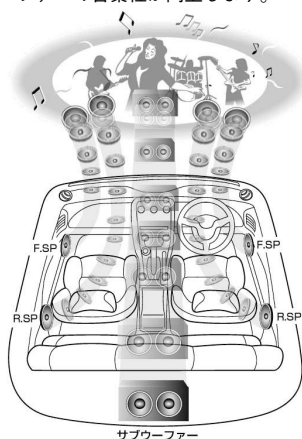
T-DLY F/T-DLY R/T-DLY NF

(フロントタイムディレイコントロール/
リアタイムディレイコントロール/
ノンフェーダータイムディレイコントロール)

フロント、リア、ノンフェーダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとわらずに最適な効果が得られます。

T-DLY Fの設定値 (msec.) を上げていくと、音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

T-DLY RやT-DLY NFの設定値 (msec.) を上げていくと、前方定位 (ばらけていた音が前方でまとまり、目の前で鳴っているような感覚) や低音感増強、臨場感の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファースの音集性が向上します。



TELコネクタ

(テレフォンコネクタ)

DPX-9200WMPに携帯電話を接続してハンズフリー機能を使うときに、その接続方式に合わせた設定をします。

BUS: 別売品CA-HF100またはCA-HF200を使用して携帯電話を接続している場合

PLUG: 別売品CA-HF300を使用して携帯電話を接続している場合

上記の設定によって使用できる機能や「ファンクションセット」で設定できる項目が変わります。

なお、上記の設定が正しく行われていないと、ハンズフリー機能は正しく動作しません。

WMA

(Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(98ページ)をご覧ください。

オープニング画面表示/Opening

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C510, KDC-C506など)、MDチェンジャー (KMD-C30, RJ-480など)、マルチDISCチェンジャー (VD-C77) です。

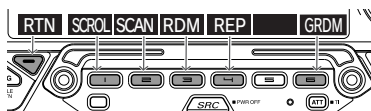
表示データダウンロード



動画や壁紙 (静止画) をCD-R/CD-RWからDPX-9200WMPにダウンロードしてディスプレイに表示することができる機能です。

ダウンロードできるファイルやCD-R/CD-RWの作成方法は『<http://www.kenwood.net-disp.com>』をご覧ください。


マルチキー

DPX-9200WMPは各アイコンと、そのアイコンの真下にあるボタンとが対応しています。





アイコンの真下にあるボタンを押すとその機能がオンします。上記の表示のときにスクランブレイをするときは **SCAN** の真下の  を押します。リピートブレイをするときは **REP** の真下の  を押します。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクに傷が多く付いている。
- Error 05** : ディスクが裏返しになっている。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル/グループタイトル表示にしようとした。
- No Text** : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●曲名、アルバム名またはアーティスト名がないMP3/WMAファイルを再生中に、それぞれの表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
-  **(点滅) / 電話メモリされていません (DPX-9200WMP)**
: DPX-9200WMPに電話番号がメモリーされていない。
➡「携帯電話メモリーダイヤル読み込み」(80ページ)を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルをDPX-9200WMPに読み込んでください。
- Please Close :**
操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。
➡パネルを閉めてから操作してください。
- UNSUPPORTED FILE :**
サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。
- COPY PROTECTION :**
コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  **インジケーターが点滅**
: CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。
-  **インジケーターが点滅**
: MDプレーヤーが正常に動作していない。
→MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。
- LOAD (点滅)** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- File Check** : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

画像のダウンロード中の異常を以下のように表示してお知らせします。 (DPX-9200WMP)

ダウンロードエラー :

- ファイルのダウンロード中に読み込みを失敗した。
→再度ダウンロードを行ってください。
- 何らかの原因で正常に動作していない。
→リセットボタンを押して再度ダウンロードを行ってください。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

表示データが見つかりません :

- CD-R/CD-RWにダウンロードが可能なファイルがありません。
→『<http://www.kenwood.net-disp.com>』で作成したCD-R/CD-RWにダウンロード可能なファイルが入っていることを確認してください。
なお、作成時についている拡張子 (.kbnまたは.KBM) は削除しないでください。

データが違います :

- 使用できないフォーマットのファイルをダウンロードしようとした。
→CD-R/CD-RWを作成し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
30 Hz～15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
感度

522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
28 dB μ

MDプレーヤー部

レーザーダイオード
デジタルフィルター (D/A)
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs (λ =780 nm)
8 倍オーバーサンプリング
1 Bit
400～900 rpm (線速度一定)
測定限界以下
20 Hz～20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
90 dB (1 kHz)
90 dB
85 dB

CDプレーヤー部

レーザーダイオード
デジタルフィルター (D/A)
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション
MP3デコード
WMAデコード

GaAlAs (λ =780 nm)
8 倍オーバーサンプリング
1 Bit
400～1000 rpm (線速度一定・倍速)
測定限界以下
10 Hz～20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
105 dB (1 kHz)
95 dB
85 dB
MPEG-1/2/2.5 Audio Layer-3準拠
Windows Media™ Audio 準拠

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトレベル
プリアウトインピーダンス
AUX入力周波数特性
AUX入力最大電圧
AUX入力インピーダンス

50 W \times 4
30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
1.8 V/10 k Ω
600 Ω 以下
20 Hz～20 kHz (±1 dB)
1.5 V
68 k Ω 以上

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター

イコライザー中心周波数
可変範囲

3次 Δ Σ方式20bit128倍オーバーサンプリング (DPX-9200WMP)
3次 Δ Σ方式18bit128倍オーバーサンプリング (DPX-8200WMP)
60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz (DPX-9200WMP)
60/160/400/1k/2k/6k/16k Hz (DPX-8200WMP)
±12 dB (±6 STEP)

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11～16 V)
10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)
質量 (重さ)

178 \times 100 \times 155 mm
2.8 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5 \times 6mm)
サラネジ (M5 \times 7mm)
セムスネジ (M4 \times 8mm)
リモコン
電池 (CR2025)

1本
6本
6本
1本
1個
1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。